

学生の確保の見通し等を記載した書類

(国立大学法人大阪教育大学)

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
ア 現状や課題等の認識、及びそれらに対応する設置の趣旨・教育内容	2
イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析	3
ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等	3
●入学定員設定の考え方	3
●学生納付金の設定の考え方	4
エ 学生確保の見通し	4
A. 学生確保の見通しの調査結果	4
B. 教育学部の入学志願動向	5
C. 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等	5
D. 競合校の状況	5
E. 既設学部等の学生確保の状況	5
オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	6
(2) 人材需要の動向等社会の要請	7
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	7
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	7

（１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 現状や課題等の認識、及びそれらに対応する設置の趣旨・教育内容

人口減少、Society5.0 時代、グローバル化の進展など社会が急速に変化する中で、次世代を切り拓く子どもたちが備えるべき資質・能力もこれまでとは大きく異なり、豊かな創造力を備え、持続可能な社会の創り手として、社会の形成に参画するための資質・能力を確実に育成していくことが重要である。

子どもたちにこのような力を育成するためには、教師自身が学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、デジタル技術を効果的に活用しながら、子ども一人一人の学びを最大限引き出すことができる力量や、「社会に開かれた教育課程」を通じて探究的な学びを実践できる力量、教科等横断的な視点で学習内容を組み立てられる力量等を備えることが必要である。

また、急激に社会が変化する中で、特別支援学級に在籍する児童生徒や、外国にルーツのある日本語指導が必要な児童生徒、不登校児童生徒等が増加し続けており、子どもの多様な教育ニーズに対応した学びを提供できる力の育成が課題となっている。

加えて、幼児期の就学前教育から小学校教育への円滑な接続や、義務教育学校制度の活用による小中一貫教育の進展、小学校高学年からの教科担任制の導入を踏まえ、子どもの発達の段階を考慮しながら指導ができる教師がこれまで以上に求められている。

このように、学校現場を取り巻く環境が変化する中、「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成を先導し、教員養成の在り方自体を変革していくための牽引役としての役割を果たす教員養成フラッグシップ大学の制度が導入され、本学は令和4年3月に文部科学大臣から指定を受けた。令和4年度より「ダイバーシティ大阪の諸課題に応え、学習者の学びに寄り添う教師の育成」をテーマに、先導的な教員養成プログラムや教職科目の研究・開発、成果の展開等に向けた取組を進めているところである。

本学は、こうした動きを更に加速させ、教員養成フラッグシップ大学として、先導的・革新的な教員養成カリキュラムを一体的に展開し、学校種を超えて子どもの発達を踏まえた学校教育全体を俯瞰した教師に必要な資質・能力を育成するべく、「初等教育教員養成課程」と「学校教育教員養成課程」を「学校教育教員養成課程」に一本化し、複数免許取得を可能とする体制への機能強化を図る。また、同課程に「次世代教育専攻」を新設し、そのもとに学習者を中心とした個別最適な学びを通じて、多様な児童生徒一人一人に寄り添う教員を養成する「教育探究コース」、ICT活用能力の向上及び教育データの利活用力を有する教員を養成する「ICT教育コース」を置く。さらに、従前の「小中教育専攻」と「中等教育専攻」を1つの専攻に再編し、小学校及び中学校（一部高等学校）免許の取得を卒業要件とする「教科教育専攻」を置く。加えて、初等教育教員養成課程の「幼児教育専攻」と「小学校教育専攻昼間コース」を「幼小教育専攻」に一本化し、そのもとに「幼児教育コース」と「小学校教育コース」を置く。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

地域・社会的動向等の現状把握として、大阪府・大阪市・堺市・豊能地区教育委員会との合同拡大連携協議会や、同協議会のもとに設置する「大阪教育大学への提言委員会」等の関係組織との意見交換を定期的に行い、「大学改革の方向性」、「養成する人材像とカリキュラム」、「教員採用試験関係」等について現場の生の声を確認している。加えて近畿圏全体を対象とした教員養成を展開すべく、大阪府・大阪市・堺市・豊能地区の各教育委員会をはじめ、滋賀県、京都市、神戸市、和歌山県の各教育委員会とも意見交換を実施し、各教育委員会が直面する課題の把握に努めており、社会的・地域的な課題等として、「幼小連携」、「児童生徒の多様化（特別支援の需要拡大）」、「ICT やデータサイエンスの知識・技能の習得」「義務教育学校等複数校種免許への対応」等が示された。

【資料 1 近畿地区各教育委員会からの要望書】

ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

●入学定員設定の考え方

令和 6 年度の改組において、改組後の入学定員を図 1 のとおり設定する。

図 1：現行と改組後の入学定員（教員養成課程）

課程・専攻	入学定員		課程・専攻	入学定員
初等教育教員養成課程	100		学校教育教員養成課程	520
幼児教育専攻	15		幼小教育専攻	60
小学校教育専攻（昼間コース）	45		次世代教育専攻	60
小学校教育専攻（夜間コース）	40	→	教科教育専攻	315
学校教育教員養成課程	420		特別支援教育専攻	45
小中教育専攻	240		小学校教育（夜間）5 年専攻	40
中等教育専攻	135			
特別支援教育専攻	45			

入学定員の設定に際しての基本的な考え方としては、①大阪府、大阪市における教員需要の減少が予想される中においても、各自治体の教員採用見込み人数の一定割合の数を本学が養成・輩出することを目指すこと、②教員養成フラッグシップ大学としての役割等の発揮の必要性を踏まえて、大阪府内に留まらず、まずは近畿地方各地域への教員輩出を図ることとし、具体的には、以下の考え方により各専攻の定員を設定している。

本改組により、初等教育教員養成課程（入学定員 100 人）と学校教育教員養成課程（入学定員 420 人）を一本化し、学校教育教員養成課程を設置するが、近畿圏における教育系大学の設置状況、卒業生の進路先と想定される近畿圏各教育機関等からの要望等を総合的に勘案し、入学定員 520 人は維持することとした。【資料 2 現行と改組後の専攻・コース毎の募集人数比較】

幼小教育専攻は、幼児教育専攻及び小学校教育専攻（昼間コース）が前身にあたる。改組後の

各専攻の募集人員は過去の入試の実績等や就職状況を鑑み、幼小教育専攻は、前身の各専攻の募集人員を合計したものとしている。

新たに設置する次世代教育専攻に教育探究コース、ICT 教育コースを置き、教育探究コースについては、学習者を中心とする主体的・対話的で深い学びと他者と協働した探究的な学びを通じて、児童・生徒を自律的な学習者へと導くための学習指導と生徒指導のあり方を探究し続ける教員の養成、ICT 教育コースについては、初等及び中等教育段階における情報教育の推進を担うとともに、学校内の ICT 普及促進、ICT 活用による校務効率化や授業開発などの教育課題の発見・解決や、学習履歴等教育ビッグデータの活用による学校教育の質の向上について、リーダー的役割を担える教員を養成すべく、「令和の日本型学校教育」に応える本学の教員養成機能の充実・強化の観点及び進学ニーズ調査の結果から、募集人員については、教育探究コースは 40 人、ICT 教育コースは 20 人と設定した。【資料 3 高校生対象ニーズ調査】

教科教育専攻については、小中教育専攻（募集人員 240 人）、中等教育専攻（募集人員 135 人）が前身にあたる専攻である。改組後の募集人員は前身の 2 専攻の募集人員から新たに設置する次世代教育専攻の募集人員（60 人）を減じ、315 人に設定する。

特別支援教育専攻及び小学校教育（夜間）5 年専攻は、前身の各専攻・コースから募集人員の変更は行わない。

●学生納付金の設定の考え方

学生納付金の額は、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に則り本学が定める「国立大学法人大阪教育大学授業料その他の費用に関する規程」第 2 条により、授業料年額 535,800 円、入学料 282,000 円としており、近隣の国立大学法人と同額である。

エ 学生確保の見通し

A. 学生確保の見通しの調査結果

新たに設定する次世代教育専攻の 2 コースへの進学ニーズを把握するため、令和 4 年 12 月に大阪府及び奈良県下の高等学校に在籍する高等学校 2 年生へのアンケート調査を実施した。アンケートは協力可能と回答いただいた 25 校（約 7,000 人）を対象に実施した。【資料 3 高校生対象ニーズ調査】

結果 25 校（6,278 人）から回答があり、教育探究コースについては、国公立大学への進学希望者で、興味のある学問領域について「教員養成・教育学・心理学」と回答し、当該コースに入学したいとした回答が 286 人となり、設定した定員の約 7 倍となった。また ICT 教育コースについては国公立大学への進学希望者で、興味のある学問領域について「教員養成・教育学・情報科学・データサイエンス」と回答し、当該コースに入学したいとした回答が 81 人となり、設定した定員の約 4 倍となった。本調査結果より、教育探究コースの定員 40 名、ICT 教育コースの定員 20 名は適当であると考えらる。

B. 教育学部の入学志願動向

教育学部の志願者数について、株式会社リクルートによる「2022 年度入試実態調査」によると、全国の教育学部の志願者数は、2013 年度の 200,535 人に比して 2022 年度は 163,496 人と 18.5%減となっているが、志願倍率については 4.9 倍と高い水準を維持している。【資料 4 株式会社リクルート 2022 年度入試実態調査】

C. 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等

大阪府における 18 歳人口予測について、リクルート進学総研マーケットリポートによると、2033 年度 18 歳人口は 2021 年度と比して 86.5%であり、全国平均の 88.9%と比較して人口減少率は全国平均を上回っている。

一方、大阪府における大学進学率については、2012 年から 2021 年にかけて 51.5%から 59.4%と 7.9%増加しており、全国平均の 5.2%増を上回っており、近隣府県である滋賀県（3.0%増）京都府（5.8%増）、兵庫県（5.9%増）、奈良県（2.7%増）、和歌山県（4.9%増）と比較しても大学進学率の増加率が高くなっている。また大学進学者の府外からの流入者についても、流入者が流出者を上回っており、近隣府県からの入学者も期待できる。

【資料 5 リクルート進学総研マーケットリポート（近畿）】

【資料 6 リクルート進学総研マーケットリポート（全国）】

D. 競合校の状況

教育学部を有する近隣大学の学生状況について、競合校となる近畿地区の教員養成系学部を有する国立大学及び大阪府及び本学に隣接する奈良県香芝市に存する私立 3 大学の教員養成系学部の状況を調査した。過去 3 年間の志願者数については、18 歳人口の減少やコロナ禍の影響もあり減少傾向ではあるが、志願倍率については、国立大学については、過去 3 年間平均で 3.80 倍、私立大学については 13.26 倍と高い水準を維持している。また定員充足率についても国立大学については平均で 104.6%、私立大学については 110.1%といずれも 100%を上回っている。これらの状況から、本学教育学部においても、現在の定員を維持する 520 名の入学定員の学生確保は十分可能であると考ええる。

【資料 7 近畿圏競合校の教育学系大学の受験・入学状況】

E. 既設学部等の学生確保の状況

幼小教育専攻、教科教育専攻は、それぞれ幼児教育専攻、小学校教育専攻（昼間コース）、小中教育専攻、中等教育専攻が前身にあたる。これら専攻・コースの過去 6 年間（平成 29 年度～令和 4 年度）の志願倍率は【資料 8】のとおり、幼児教育専攻 2.7 倍、小学校教育専攻（昼間コース）2.7 倍、小中教育専攻 2.3 倍、中等教育専攻 2.3 倍と高倍率を維持しており優秀な志願者を多数得ている。また、6 年間で大阪府内の 18 歳人口が減少する中においても、志願倍率に大きな増減は認められず、今後さらに 18 歳人口が減少することが予想される中においても、受験

者数の確保を見込むことが出来ることを示している。

【資料 8 既存教員養成課程の志願倍率】

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

本学では、学生確保に向けて以下の取組を実施している。

①オープンキャンパス

本学では毎年 7 月末にオープンキャンパスを開催し、各課程・専攻・コース別の個別相談会のほか、入試アドバイザーによる個別相談会、学生生活、留学等の相談を受け付けるとともに、模擬授業・学生オーケストラによるミニコンサート等の企画、在学生ガイドによるキャンパスツアーの実施等を行い、本学を志望する者や教職に興味のある者に具体的な学びのイメージを持ってもらう機会となっている。

なお、令和 4 年度には 3 年ぶりに対面形式でも開催し、オンライン・対面併せて約 4,000 人が参加した。

【資料 9 大学 HP_3 年ぶりにオープンキャンパスを対面開催】

②進学相談会の実施

本学入試アドバイザーによる Web 個別相談会を随時実施しているほか、業者主催の学外進学説明会にも参加し、本学の特色や魅力、入試に関する説明等の情報提供に努めている。

③高校内ガイダンスや出前授業（高校内で実施する模擬授業）の実施

高校主催の進路指導イベントへの本学教職員の派遣や、出前授業を通して本学での学びをイメージしてもらい、教員を目指す受験生の志願者確保に努めている。

【資料 10 大学 HP_大学見学・模擬授業等について】

④府立高校教職コンソーシアム

大阪府内の高等学校の校長を中心とする府立高校教職コンソーシアムを結成し、当該コンソーシアムを対象に、高校生育成プログラム「教師にまっすぐ」、出前授業「大教大レッスン」、高校訪問「大教大キューピッド」、キャンパスガイド「大教大をまるごと体験しよう!」、作文コンクール「Leading to the Future」、教師塾「教師の学び舎」等の事業を実施するとともに、メールマガジン「学びの架け橋」を配信している。特に「教師にまっすぐ」では、「教師になりたい」という夢や志を持つ高校生に対して、夢を大きく膨らませ、志をより確かなものにするためのプログラムであり、本プログラムの修了により、本学の「大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）」の出願要件を満たすこととし、教師になる意欲の高い学生の確保に努めている。【資料 11 大学 HP_府立高校教職コンソーシアムとの連携】

⑤教師の魅力向上プロジェクト「教師冥利に尽きるエッセイ」

全国の教職等経験者から「教師冥利に尽きるエッセイ」を集め、Web 特設サイトによる公開等を通して教師の魅力を発信するとともに、教師をめざす高校生や大学生等のキャリア教育教材として活用することを目的とする教師の魅力向上プロジェクトを展開している。本学としては初めてクラウドファンディングを活用した資金調達にも挑戦し、内容は本学 HP により一般公開されている。【資料 12 大学 HP_教師の魅力向上プロジェクト「教師冥利に尽きるエッセイ」】

（２）人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

グローバル化、情報化の進展など変化の激しい予測困難な時代が到来し、学校教員においては、教育のデジタル化や新たなニーズへの対応など、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、探究心を持って自律的に新しい知識・技能を学び続け、子ども一人一人の個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たすことが求められている。

このような変化の中、本学は令和 4 年 3 月に文部科学省から教員養成フラッグシップ大学の指定を受け、令和 4 年度より「ダイバーシティ大阪の諸課題に答え、学習者の学びに寄り添う教師の育成」をテーマに、先導的な教員養成プログラムや教職科目の研究・開発、成果の展開等に向けた取組を進めているところである。

こうした動きを更に加速させ、先導的・革新的な教員養成カリキュラムを一体的に展開し、学校種を超えて子どもの発達を踏まえた学校教育全体を俯瞰した教師に必要な資質・能力を育成するべく、「初等教育教員養成課程」と「学校教育教員養成課程」を「学校教育教員養成課程」に一本化する。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

文部科学省「公立学校教員採用選考試験の実施状況について」によると、過去 5 年間の公立小学校・中学校の教員採用者数は、資料のとおり推移している。

【資料 13 全国の公立小学校・中学校・義務教育学校教員の採用選考試験状況】

平成 29 年度と令和 3 年度を比較すると、小学校・中学校とも受験者数が減少している中、採用者数は増加している。一方、近畿圏の状況は、受験者数は全国と同様に減少しており、採用者数については、小学校でわずかに減少しているが、中学校については全国同様増加傾向であり、全国・近畿圏においても人材需要が高い状況であることが分かる。

また今後の教員需要について、「令和元年度学校教員統計調査」によると、近畿地方における本務教員の年齢分布は、60 歳から 54 歳の人数については急激に減少しているが、逆にその後は増加に転じることがわかる。

【資料 14 公立学校 本務教員年齢分布（令和元年度・地方別）】

本データをもとに現在の教員の年齢構成から今後 20 年間の定年退職者数の推移予測をまとめ

た。(定年を 60 歳とする。) その結果、本改組の完成年度である令和 9 年度以降の定年退職者数想定について、全国では令和 9 年度から令和 18 年度まで減少傾向であるが、令和 19 年度から増加傾向に転じることが分かる。近畿圏においては令和 9 年度から令和 11 年度まで減少傾向であるが、令和 12 年度から全国に先立ち増加傾向に転じる。このことにより、教員の年齢構造による一時的な採用減少は見られるものの、中長期的視点では教員需要は増加傾向であることがわかる。【資料 15 今後の定年退職者推移予測】

また、本学の向かうべき方向等について学外教育関係者から様々な構成で意見をもらうべく、大阪府・大阪市・堺市・豊能地区教育委員会との合同拡大連携協議会や、同協議会のもとに設置する「大阪教育大学への提言委員会」等を開催し、「大学改革の方向性」、「養成する人材像とカリキュラム」、「教員採用試験関係」等について現場サイドの生の声を確認している。さらに近畿圏全体を対象とした教員養成を展開すべく、大阪府・大阪市・堺市・豊能地区の各教育委員会をはじめ、滋賀県、京都市、神戸市、奈良県、和歌山県の各教育委員会とも意見交換を実施し、各教育委員会が直面する課題の把握に努め、社会的・地域的な課題等として、「幼小連携」、「児童生徒の多様化（特別支援の需要拡大）」、「義務教育学校等複数校種免許への対応」等が示されている。併せて「児童生徒を自律的な学習者へと導くための学習指導と生徒指導のあり方を探究し続ける力」や「ICT やデータサイエンスに関する高度な専門的な知識・技能を修得し、これまでの学習指導に ICT 活用の理論と方法を効果的に組み合わせる力」を持った教員の養成や、幼少の接続や義務教育 9 年間を見通し、小学校における教科担任制や中学校での複数教科を指導できる教員の養成を要望されている。

さらに、新たに設定する次世代教育専攻の 2 コースへの進学ニーズを把握するため、令和 4 年 12 月に大阪府下の小中学校 590 校の管理職を対象に、これからの教育現場で特に必要となる資質・能力についてアンケート調査を実施した。結果 225 校から回答があった。具体的には「子どもの発達段階や多様性に対応した教育を計画できる力 (72.9%)」、「子ども一人ひとりの学びの意欲を引き出すファシリテーション力 (70.7%)」、「児童・生徒の主体的な学びを支援する学習指導を構想する力 (63.1%)」、「探究心をもって新しい知識や技能を学ぶ力 (60.0%)」、「1 人 1 台学習用端末やデジタル教材の活用等 ICT 環境や先端技術を教育現場に最適化する力 (61.8%)」となっており、今回新たに設置する「次世代教育専攻」の養成する人材像に高い関心があることが分かる。【資料 16 学校長等管理職対象ニーズ調査】

これらに応えるべく、教員養成フラッグシップ大学として、先導的・革新的な教員養成カリキュラム等を一体的に展開し、学校種を超えて子どもの発達を踏まえた学校教育全体を俯瞰した教師に必要な資質・能力を教員養成課程全体で育成する今回の組織改革を進めており、本課程において育成する人材は、社会的、地域的な学校現場の教員重要に応えるものとなっている。

学生の確保の見通し等を記載した書類 別添資料

資料 1	近畿地区各教育委員会からの要望書	・ ・ ・ P 2
資料 2	現行と改組後の専攻・コース毎の募集人数比較	・ ・ ・ P11
資料 3	高校生対象ニーズ調査	・ ・ ・ P12
資料 4	株式会社リクルート 2022 年度入試実態調査	・ ・ ・ P34
資料 5	リクルート進学総研マーケットリポート（近畿）	・ ・ ・ P36
資料 6	リクルート進学総研マーケットリポート（全国）	・ ・ ・ P40
資料 7	近畿圏競合校の教育学系大学の受験・入学状況	・ ・ ・ P42
資料 8	既存教員養成課程の志願倍率	・ ・ ・ P43
資料 9	大学 HP 3 年ぶりにオープンキャンパスを対面開催	・ ・ ・ P44
資料 10	大学 HP_大学見学・模擬授業等について	・ ・ ・ P45
資料 11	大学 HP_府立高校教職コンソーシアムとの連携	・ ・ ・ P48
資料 12	大学 HP_教師の魅力向上プロジェクト「教師冥利に尽きるエッセイ」	・ ・ ・ P51
資料 13	全国の公立小学校・中学校・義務教育学校教員の採用選考試験状況	・ ・ ・ P54
資料 14	公立学校本務教員年齢分布（令和元年度・地方別）	・ ・ ・ P56
資料 15	今後の定年退職者推移予測	・ ・ ・ P57
資料 16	学校長等管理職対象ニーズ調査	・ ・ ・ P58

大阪教育大学における教員養成の充実に関する要望書

国立大学法人

大阪教育大学長 殿

大阪府においては、学力向上をはじめ、いじめ防止、Society5.0の実現に向けた情報活用能力の育成、ダイバーシティ教育、インクルーシブ教育等への対応など、学校教育の充実が求められる中、これらを担う優れた教員の採用、確保が重要となっている。

また、特別支援教育を受ける児童生徒数の増加に伴う小・中学校への特別支援教育に対するニーズの高まりや、近年、外国人児童生徒の国籍や帰国児童生徒の国・地域の多様化などにより、専門性の高い教員の配置等に係る課題もある。

さらに、教員業務の複雑化等による病気休暇・休職や出産、育児の時期を迎え、教員の代わりを担う講師の確保が困難な状況となっており、近年、一部の学校では定数上の教員数の配置が課題となっている。

ついては、大阪教育大学において令和6年度に予定されている学部と教職大学院の一体的改組に際して、教員養成フラッグシップ大学として、教師不足の現状も踏まえて、現在と同等規模数での教員養成を最低限維持していただくとともに、学習者を中心とする主体的・対話的で深い学びと他者と協働した探究的な学びを通じて、児童生徒を自律的な学習者へと導くための学習指導と生徒指導のあり方を探究し続ける力、ICTやデータサイエンスに関する高度な専門的な知識・技能を修得し、これまでの学習指導にICT活用の理論と方法を効果的に組み合わせる力等、次世代を切り拓く子どもたちを取り巻く様々な教育課題に対処でき、次世代の学校教育を牽引できる教員の養成を要望する。

また、大阪府と協働した教員の養成・採用・研修等の一体的な充実を図るべく、学部と教職大学院の有機的な連携・接続による先取り履修を活用し、養成に留まらず、その後の採用・研修を見通した、より実体的な授業実践や課題研究等の展開を期待する。

併せて、幼少の接続や義務教育9年間を見通し、小学校における教科担任制への対応や中・高等学校での複数教科を指導できるための複数校種・教科の免許取得、特別支援教育関係免許取得等にも留意いただくよう要望する。

令和5年3月2日

大阪府教育委員会

教育長 橋本 正司



大阪教育大学における教員養成の充実に関する要望書

国立大学法人

大阪教育大学長 殿

大阪市においては、令和12年（2030年）以降の社会を見据え、本市の教育を取り巻く現状や教育に係るこれまでの取組みの成果と課題を整理した上で、今後4年間に取り組むべき施策をまとめた「大阪市教育振興基本計画」を令和4年度に新たに策定したところである。そこでは、3つの最重要目標として「安全・安心な教育の推進」、「未来を切り拓く学力・体力の向上」、「学びを支える教育環境の充実」を定め、いじめ・不登校への対応、インクルーシブ教育の推進、「主体的・対話的で深い学び」の推進、ICTを活用した教育の推進等に取り組むこととしている。本市としては、これらの目標の実現に向け、大阪教育大学とのパートナーシップを一層強化していきたいと考えている。

大阪教育大学においては、令和6年度に学部と教職大学院の一体的改組を予定しているということであるが、まずは現在と同等の教員養成数を維持していただきたい。その上で以下のような力を備えた教員の養成を要望する。

1. 学習者を中心とする、主体的・対話的で深い学びと他者と協働した探究的な学びを通じて、児童生徒を自律的な学習者へと導くための学習指導と生徒指導のあり方を探究し続ける力。
2. 初等及び中等教育段階における情報教育の推進を担うとともに、学校内のICT普及促進、ICT活用による校務効率化や授業開発などの教育課題の発見・解決や、学習履歴等教育ビッグデータの活用による学校教育の質の向上について、リーダー的役割を担える力。
3. 次世代を切り拓く子どもたちを取り巻く様々な教育課題に対処でき、次世代の学校教育を牽引する力。

また、大阪市の教育に強い関心を持ち、大阪市での教職を強く希望する人材を養成すべく、教職コース等を有する高等学校に対する推薦枠の拡充等入試制度の改革にも期待する。

さらに、大阪市と協働した教員の養成・採用・研修等の一体的な改革を図るべく、令和6年度に運用を開始する合築施設において、学部と教職大学院の有機的な連携・接続による先取り履修を展開することにより、養成にとどまらず、その後の採用・研修を見通した、より実体的・具体的な授業実践や課題研究等の展開を期待する。

併せて、幼小の接続や義務教育9年間を見通し、複数校種・多種教科の免許取得や小学校における教科担任制への対応、特別支援教育関係免許取得等にも留意いただくよう要望する。

令和5年3月28日

大阪市教育局委員会

教育長 多田 勝哉

大阪教育大学における教員養成の充実に関する要望書

国立大学法人

大阪教育大学長 様

これからの学校教育には、新たな時代を担う子どもたちに、変化が激しく予測困難な社会にあっても、明るい未来を思い描きながら、主体的・協働的な学びを通じて成長するための力を育成することが求められています。

そのような中、堺市では令和3年2月に「第3期未来をつくる堺教育プラン」を策定し、堺市のめざす教育像を定めるとともに、5つの基本的方向性と16の基本施策を定め、総合的な学力の育成をはじめ、いじめや不登校等の未然防止、Society5.0の実現に向けた情報活用能力の育成、多様性を認める教育やインクルーシブ教育等への対応等に取り組んでいます。

また、これからの堺の学びとして「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をめざし、中学校区を1つの「学校群」と捉え、自立したマネジメントのもと義務教育9年間を見通したカリキュラムの編成や授業の改善などに取り組んでいます。

学校教育の充実が求められる中、これらを担う優れた教員の採用、確保が重要となっています。

その一方で、本市の教員の年齢構成上、子育て世代が多いことから、出産、育児で長期休業となる教員の代わりを担う人材の確保が困難な状況となっていることや、特別な支援を要する児童生徒が増加していることを受け、特別支援教育の専門性の高い教員人材の確保が課題になっています。

そのような中、大阪教育大学において令和6年度に予定されている学部と教職大学院の一体的改組に際しては、全国的な教師不足の現状も踏まえて、現在と同等規模数での教員養成を最低限維持することはもとより、地域における教員養成フラッグシップ大学としての役割を担っていただくことを要望します。具体的には、学習者を中心とする主体的・対話的で深い学びと他者と協働した探究的な学びを通じて、児童生徒を自律的な学習者へと導くための学習指導と生徒指導のあり方を探究し続ける力、ICTやデータサイエンスに関する高度な専門的な知識・技能を修得し、これまでの学習指導にICT活用の理論と方法を効果的に組み合わせる力等を身に付け、次世代の学校教育を牽引できるような教員の養成を要望します。

また、教員の養成・採用・研修等の一体的な充実を図るため、大学においては、学部と教職大学院の有機的な連携・接続による先取り履修を活用することで、養成に留まらず、その後の採用・研修まで見通した、より実体的な授業実践や課題研究等の展開を期待します。

併せて、幼小接続や義務教育9年間を見通した小中一貫教育等を充実するため、小学

校における教科担任制への対応や、中・高等学校での複数教科を指導できるための複数校種・教科の免許取得、特別支援教育関係免許の取得等にも留意いただきますよう要望します。

令和5年4月25日

堺市教育委員会

教育長 栗井 明彦

大阪教育大学における教員養成の充実に関する要望書

国立大学法人 大阪教育大学

学長 岡本 幾子 様

情報化や技術革新、グローバル化等により予測を越えて加速度的に社会状況の進展が予想されている中、これからの学校教育には、個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びを通じて、児童生徒を育成することが求められている。

そのような中、豊能地区3市2町では、義務教育9年間を見通した小中一貫教育の推進をはじめ、いじめや不登校等の未然防止、Society5.0の実現に向けた情報活用能力の育成、ダイバーシティ教育やインクルーシブ教育等への対応など、学校教育の充実及びこれらを担う優れた教員の採用、確保が重要となっている。

ついては、大阪教育大学において令和6年度に予定されている学部と教職大学院の一体的改組に際して、教師不足の現状も踏まえ、現在と同等規模数での教員養成を最低限維持していただくことを要望する。また、教員養成フラッグシップ大学として、学習者を中心とする主体的・対話的で深い学びと他者と協働した探究的な学びを通じて、児童生徒を自律的な学習者へと導くための学習指導と生徒指導のあり方を探究し続ける力、ICTやデータサイエンスに関する高度で専門的な知識・技能を修得し、これまでの学習指導にICT活用の理論と方法を効果的に組み合わせる力等、次世代を切り拓く子どもたちを取り巻く様々な教育課題に対処でき、次世代の学校教育を牽引できる教員の養成も要望する。

併せて、保幼小の接続や義務教育9年間を見通し、小学校における教科担任制への対応や中学校での複数教科を指導できるための複数校種・教科の免許取得、特別支援教育関係免許取得等にも留意いただくよう要望する。

令和5年(2023年)5月17日

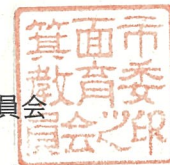
豊中市教育委員会



池田市教育委員会



箕面市教育委員会



豊能町教育委員会



能勢町教育委員会



大阪教育大学における教員養成の充実に関する要望書

国立大学法人

大阪教育大学長 殿

滋賀県においては、学力向上をはじめ、Society5.0の実現に向けた情報活用能力の育成、ダイバーシティ教育、インクルーシブ教育等への対応など、学校教育の充実が求められる中、これらを担う優れた教員の採用、確保が重要となっている。

また、病気や出産、育児で長期休業となる教員の代わりを担う講師の確保が困難な状況となっており、近年、一部の学校では定数上の教員数の配置が課題となっている。

さらに、特別な支援を要する児童生徒数の増加に伴う小・中学校への特別支援教育の専門性の高い教員の配置等、人事配置等に係る課題もある。

ついては、大阪教育大学において令和6年度に予定されている学部と教職大学院の一体的改組に際して、教員養成フラッグシップ大学として、近畿圏全体の教員需要動向も踏まえて、現在と同等規模数での教員養成を最低限維持していただくとともに、教職に高い熱意と使命感を持ち、様々な地域において今後の学校教育の創造や本県の課題等に適切に対応できる力を持った教員を育成いただくよう要望する。

なお、併せて、義務教育9年間を見通した小学校における教科担任制や中学校での複数教科を指導できるための免許取得、特別支援教育関係免許取得にも留意いただくよう要望する。

令和4年12月20日

滋賀県教育委員会

教育長 福永 忠克



教 教 セ 第 1 3 5 号
令和4年11月18日

国立大学法人大阪教育大学
学長 岡本 幾子 殿

京 都 市 教 育 長
稲 田 新 吾
(公印省略)

大阪教育大学における学部と教職大学院の一体的改組に際しての要望について

大阪教育大学におかれては、校種や領域を問わず幅広い知識と実践力を身に付けるカリキュラムより、豊かな教養と広い視野を持った優れた能力を有する教員を養成されてきました。

また、連合教職大学院として、関西大学、近畿大学と連合し、さらに近隣の教育委員会と連携協力し、実践的指導力を有したストレートマスターを養成するだけでなく、現職教員を対象に地域や学校における指導的役割を果たしうるスクールリーダーの養成をはじめ、確かな指導理論と応用力を兼ね備えた教員を養成していただいております。これら大阪教育大学が進められてきた取組は、大阪だけにとどまらず、日本の学校教育全体の質の向上に大きく寄与するものであります。

令和6年度に予定されている学部と教職大学院の一体的改組においても、教員養成フラッグシップ大学として、ダイバーシティ教育をベースとした先導的な教員養成プログラムの開発の構想を進められております。京都市といたしましても、教職に高い熱意と使命感を持ち、「一人一人の子どもたちを徹底的に大切にする」という本市の教育理念の下、理論と実践の往還によって培われた実践的指導力により即戦力として活躍できる教員を育成していただくことを期待します。

併せて、幼少の接続や義務教育9年間を見通し、小学校における教科担任制や中学校での複数教科を指導できるための免許取得、特別支援教育関係免許取得も促進していただくよう希望します。

大阪教育大学における教員養成の充実に関する要望書

国立大学法人

大阪教育大学長 殿

神戸市においては、学力向上をはじめ、いじめ防止、Society5.0の実現に向けた情報活用能力の育成、ダイバーシティ教育、インクルーシブ教育等への対応など、学校教育の充実が求められる中、これらを担う優れた教員の採用、確保が重要となっている。

また、病気や出産、育児で長期休業となる教員の代わりを担う講師の確保が困難な状況となっており、近年、教員の配置に課題が生じている学校も一部ある。

さらに、特別な支援を要する児童生徒数の増加に伴う小・中学校への特別支援教育の専門性の高い教員の配置等、人事配置等に係る課題もある。

ついては、主に以下の点について要望する。

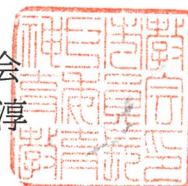
大阪教育大学において令和6年度に予定されている学部と教職大学院の一体的改組に際して、教員養成フラッグシップ大学として、神戸市ひいては関西地域、近畿圏全体の教員需要動向も踏まえて、現在と同等規模数での教員養成を最低限維持していただきたい。

これからの教育に求められる、ICT活用能力や特別支援教育に係る知見等も有しながら、子供に寄り添いつつ、人と良好な人間関係を築き、向上心を持ち続けて、今後の学校教育の創造や本市の課題等に適切に対応できる力を持った教員を育成していただきたい。

小学校における教科担任制や中学校での複数教科を指導できるための免許取得、特別支援教育関係免許取得にも留意していただきたい。

令和5年2月3日

神戸市教育委員会
教育長 長田 淳



大阪教育大学における教員養成の充実に関する要望書

国立大学法人

大阪教育大学長 殿

和歌山県においては、学力向上をはじめ、いじめ防止、Society5.0の実現に向けた情報活用能力の育成、ダイバーシティ教育、インクルーシブ教育等への対応など、学校教育の充実が求められる中、これらを担う優れた教員の採用、確保が重要となっている。

また、小規模校も少なくなく、教科によっては、定数上の教員数の確保が課題となっている。

さらに、特別な支援を要する児童生徒数の増加に伴う小・中学校への特別支援教育の専門性の高い教員の配置等、人事配置等に係る課題もある。

については、大阪教育大学において令和6年度に予定されている学部と教職大学院の一体的改組に際して、教員養成フラッグシップ大学として、関西地域、近畿圏全体の教員需要動向も踏まえて、現在と同等規模数での教員養成を最低限維持していただくとともに、教職に高い熱意と使命感を持ち、様々な地域において今後の学校教育の創造や和歌山県の課題等に適切に対応できる力を持った教員を育成いただくよう要望する。

なお、併せて、幼小の接続や義務教育9年間を見通し、小学校における教科担任制や中学校での複数教科を指導できるための免許取得、特別支援教育関係免許取得にも留意いただくよう要望する。

令和4年11月25日

和歌山県教育委員会
教育長 宮崎 泉



現行  令和6年改組後

課程・専攻・コース		入学 定員	募集 人員
学校教育 教員養成課程	小中教育専攻	学校教育コース	25
		国語教育コース	40
		英語教育コース	15
		社会科教育コース	35
		数学教育コース	25
		理科教育コース	35
		家政教育コース	10
		保健体育コース	30
		音楽教育コース	10
		美術・書道教育コース	15
	中等教育専攻	国語教育コース	10
		英語教育コース	15
		社会科教育コース	10
		数学教育コース	25
		理科教育コース	25
		技術教育コース	10
		家政教育コース	10
		保健体育コース	10
		音楽教育コース	10
		美術・書道教育コース	10
初等教育 教員養成課程	特別支援教育専攻		45
	幼児教育専攻		15
		昼間コース	45
	小学校教育専攻	夜間コース	40
		夜間コース（3年次編入学）	(25)
	計		520 (25)

※（ ）は夜間3年次編入を表し、外数。

課程・専攻・コース		入学 定員	募集 人員
学校教育 教員養成課程	次世代教育専攻	教育探究コース	40
		ICT教育コース	20
		国語教育コース	45
		英語教育コース	25
	教科教育専攻	社会科教育コース	40
		数学教育コース	45
		理科教育コース	50
		技術教育コース	10
		家政教育コース	15
		保健体育コース	40
		音楽教育コース	20
		美術・書道教育コース	25
	特別支援教育専攻		45
	幼小教育専攻	幼児教育コース	15
		小学校教育コース	45
	小学校教育（夜間）5年専攻		40
	3年次編入学		(25)
	計		520 (25)

大阪教育大学
「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」
(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】

令和5年2月
株式会社 進研アド

－学生確保（資料）－12－

高校生対象 調査概要

1. 調査目的

2024年4月開設予定の大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

高校生対象調査		
調査対象		主な学生募集エリアの高等学校に在籍する 高校2年生
調査エリア		大阪府、奈良県
調査方法		高校留置き調査
調査 対象数	依頼数 (依頼校数)	7,038名(25校)
	有効回収数 (回収校数)	6,278名(25校) 有効回収率:89.2%
調査時期		2022年12月5日(月)～2023年1月10日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
・ 高校種別 ・ 高校所在地 ・ 所属クラス ・ 高校卒業後の希望進路 ・ 興味のある学問系統 ・ 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」の特色に対する 魅力度 ・ 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」への受験意向 ・ 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」への入学意向

高校生対象 調査結果まとめ

高校生対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」(仮称)に対する需要を確認するための調査として設計。大阪教育大学の主な学生募集エリアである大阪府、奈良県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、6,278名から回答を得た。

- 回答者の在籍高校種別は「公立」が100.0%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、大阪教育大学の所在地である「大阪府」が83.9%。「奈良県」が16.1%。
- 回答者の所属クラスは、「文系クラス(文系コース)」、「理系クラス(理系コース)」がともに45.6%。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「国公立大学に進学」の割合が71.8%で最も高い。次いで「私立大学に進学」が53.0%、「専門学校・専修学校に進学」が4.1%と続く。

国公立大学への進学志望者が多いことから、大阪教育大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。

- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「経済・経営・商学」が25.2%で最も高い。次いで「工学」が20.8%で続く。
- 「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」の学びと関連する学問系統への関心は、「心理学」18.4%、「教員養成・教育学」13.9%。
- 「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」の学びと関連する学問系統への関心は、「教員養成・教育学」13.9%、「情報科学・データサイエンス」12.3%。

高校生対象 調査結果まとめ

大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」 の特色に対する魅力度

- 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で7割を超える。
- 「教育探究コース」の2つの特色のうち、魅力度がより高いのは、「B. 教育学や心理学等の専門的知識を学び、子ども一人ひとりにあった教え方や、学びの意欲を引き出すスキルを身につけます。」(81.1%)であり、「とても魅力を感じる」の割合も3割を超える。

「A. 様々な課題を抱える子どもたちへの対応力や、子どもたちの学びの意欲を引き出す力(ファシリテーション力)を持ち、次世代の学習指導と生徒指導の在り方を探求し続ける学校教員を養成します。」の魅力度は77.8%。

- 「ICT教育コース」の2つの特色のうち魅力度がより高いのは、僅差ではあるが、「D. デジタル教材・データサイエンス・プログラミング等に関する専門知識・技術を学び、デジタル教材を活用した授業改善やデータ活用による教育課題解決ができる実践力を身につけます。」(76.9%)である。

「C. ICTやデータサイエンスの専門知識を学習指導・生徒指導に効果的に活用し、子どもたちの学びを支援するとともに、学校教育の質の向上に寄与することができる学校教員を養成します。」の魅力度は75.5%。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

高校生対象 調査結果まとめ

大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」への 受験意向・入学意向

- 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」を「受験したいと思う」と答えた人は、13.3% (6,278名中、**832名**) である。
- 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」を「受験したいと思う」と答えた832名のうち、大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」の「教育探究コースに入学したい」と回答した人は63.2% (**526名**)、「ICT教育コースに入学したい」と回答した人は19.5% (**162名**) である。

高校生対象 調査結果まとめ

大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」への入学意向者数

※ここからは、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「教育探究コースに入学したい」と回答した人を大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」への入学意向率は8.4% (526名)で、予定している入学定員数40名を10倍以上上回る入学意向者数がみられた。

<属性別>

◇高校所在地別

- 大阪教育大学の所在地である「大阪府」の高校在籍者からの入学意向率は8.2% (5,270名中、430名)。予定している入学定員数を10倍以上上回る入学意向者数がみられた。
- 「奈良県」の高校在籍者からの入学意向率は9.5% (1,008名中、96名)。予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者数がみられた。

◇所属クラス別

- 「文系クラス(文系コース)」に所属している回答者の入学意向率は11.3% (2,861名中、323名)、「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向率は5.8% (2,865名中、166名)と、文系クラス所属者からの入学意向率の方が高い。ただし、どちらも入学意向者数は、予定している入学定員数を大きく上回っている。

◇高校卒業後の希望進路別

- 大阪教育大学を受験・入学する可能性が高い「国公立大学に進学」を考えている回答者の入学意向率は8.9% (4,505名中、401名)と、予定している入学定員数の10倍を超える入学意向者数がみられた。

高校生対象 調査結果まとめ

◇興味のある学問系統別

- 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」の学びと関連する「教員養成・教育学」「心理学」のいずれか一つ以上の学問系統に興味がある回答者の入学意向率は19.8%（1,804名中、**358名**）と、予定している入学定員数の9倍近い入学意向者数がみられた。
- 「教員養成・教育学」に興味がある回答者に限定した場合の入学意向率は32.0%（871名中、**279名**）と、より条件を限定した場合でも、予定している入学定員数の7倍近い入学意向者数がみられた。

◇大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」の特色に対する魅力度別

- 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向率は、A・Bどちらの特色でも10%を超えており、入学意向者数も、それぞれ、予定している入学定員数を大きく上回っている。

さらに精緻な条件下での、大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」への入学意向者数

※入学意向者の条件をさらに精緻に設定して、
下記の①～④の条件すべてに合致する人を
大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」の
入学意向者と定義し、分析を行う。

- ① Q1で「国公立大学に進学」と回答。
- ② Q2で「教員養成・教育学」「心理学」のいずれかに興味があると回答。
- ③ Q4で「受験したいと思う」と回答。
- ④ Q5で「教育探究コースに入学したい」と回答。

- 回答者全体で、①Q1で「国公立大学に進学」と回答し、かつ、②Q2で「教員養成・教育学」「心理学」のいずれかに興味があると回答した人は1,305名。そのうち、③Q4で「受験したいと思う」と回答し、さらに④Q5で「教育探究コースに入学したい」と回答した人は286名。

すなわち、上記①～④の条件をすべて満たす入学意向者数は1,305名中、286名（入学意向率21.9%）と、予定している入学定員数40名を7倍以上上回る入学意向者数がみられた。

- さらに、②の条件を「教員養成・教育学」関心者のみに絞っても、入学意向率は34.0%（700名中、238名）で、予定している入学定員数40名を5倍以上上回る入学意向者数がみられた。
- ターゲットの条件をより精緻に限定した場合でも、入学意向者数は予定している入学定員数40名を上回っている。

高校生対象 調査結果まとめ

大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」への入学意向者数

※ここからは、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「ICT教育コースに入学したい」と回答した人を大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」への入学意向率は2.6% (162名)で、予定している入学定員数20名を8倍以上上回る入学意向者数がみられた。

<属性別>

◇高校所在地別

- 大阪教育大学の所在地である「大阪府」の高校在籍者からの入学意向率は2.5% (5,270名中、134名)と、予定している入学定員数を6倍以上上回る入学意向者数がみられた。
- 「奈良県」の高校在籍者からの入学意向率は2.8% (1,008名中、28名)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

◇所属クラス別

- 「文系クラス(文系コース)」に所属している回答者の入学意向率は1.5% (2,861名中、43名)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者数がみられた。
- 「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向率は3.7% (2,865名中、106名)と、予定している入学定員数を5倍以上上回る入学意向者数がみられた。

高校生対象 調査結果まとめ

◇高校卒業後の希望進路別

- 大阪教育大学を受験・入学する可能性が高い「国公立大学に進学」を考えている回答者の入学意向率は3.0%（4,505名中、135名）と、予定している入学定員数を6倍以上上回る入学意向者数がみられた。

◇興味のある学問系統別

- 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」の学びと関連する「教員養成・教育学」「情報科学・データサイエンス」のいずれか一つ以上の学問系統に興味がある回答者の入学意向率は、5.7%（1,583名中、91名）。予定している入学定員数を4倍以上上回る入学意向者数がみられた。

- 「教員養成・教育学」に興味がある回答者に限定した場合の入学意向率は4.9%（871名中、43名）と、より条件を限定した場合でも、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者数がみられた。

また、「情報科学・データサイエンス」に興味がある回答者に限定した場合の入学意向率は7.9%（772名中、61名）で、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者数がみられた。

◇大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」の特色に対する魅力度別

- 大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向率は、C・Dどちらの特色でも3%程度。入学意向者数は、それぞれ予定している入学定員数を大きく上回っている。

さらに精緻な条件下での、大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」への入学意向者数

※入学意向者の条件をさらに精緻に設定して、
下記の①～④の条件すべてに合致する人を
大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」の
入学意向者と定義し、分析を行う。

- ① Q1で「国公立大学に進学」と回答。
- ② Q2で「教員養成・教育学」「情報科学・データサイエンス」のいずれかに
興味があると回答。
- ③ Q4で「受験したいと思う」と回答。
- ④ Q5で「ICT教育コースに入学したい」と回答。

- 回答者全体で、①Q1で「国公立大学に進学」と回答し、かつ、②Q2で「教員養成・教育学」「情報科学・データサイエンス」のいずれかに興味があると回答した人は1,292名。そのうち、③Q4で「受験したいと思う」と回答し、さらに④Q5で「ICT教育コースに入学したい」と回答した人は81名。

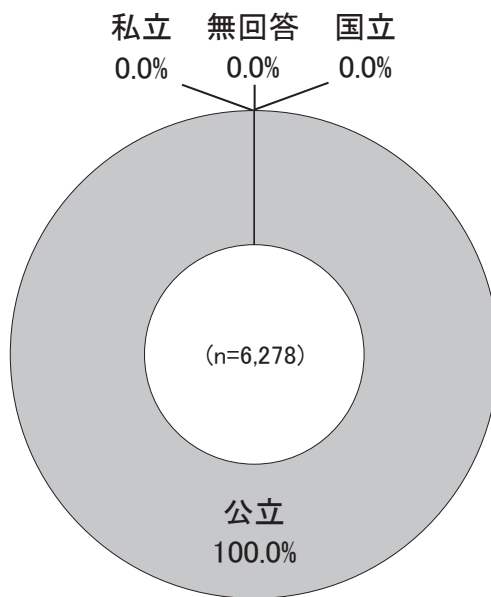
すなわち、上記①～④の条件をすべて満たす入学意向者数は1,292名中、81名（入学意向率6.3%）と、予定している入学定員数20名を4倍以上上回る入学意向者数がみられた。

- さらに、②の条件を「教員養成・教育学」関心者のみに絞っても、入学意向率は5.4%（700名中、38名）で、予定している入学定員数20名を上回る入学意向者数がみられた。
- ターゲットの条件をより精緻に限定した場合でも、入学意向者数は予定している入学定員数20名を上回っている。

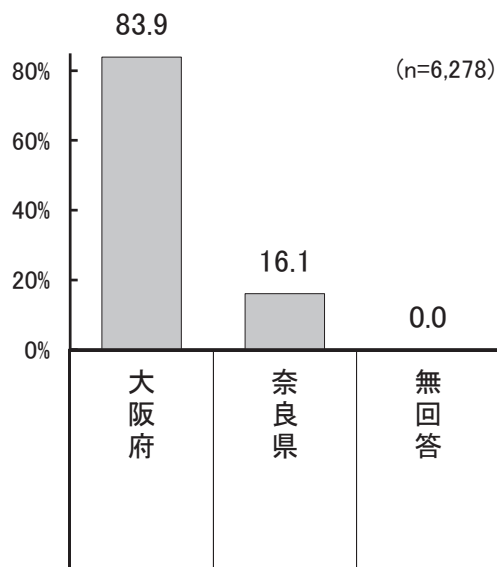
高校生対象 調査結果

回答者の属性(高校種別／高校所在地／所属クラス)

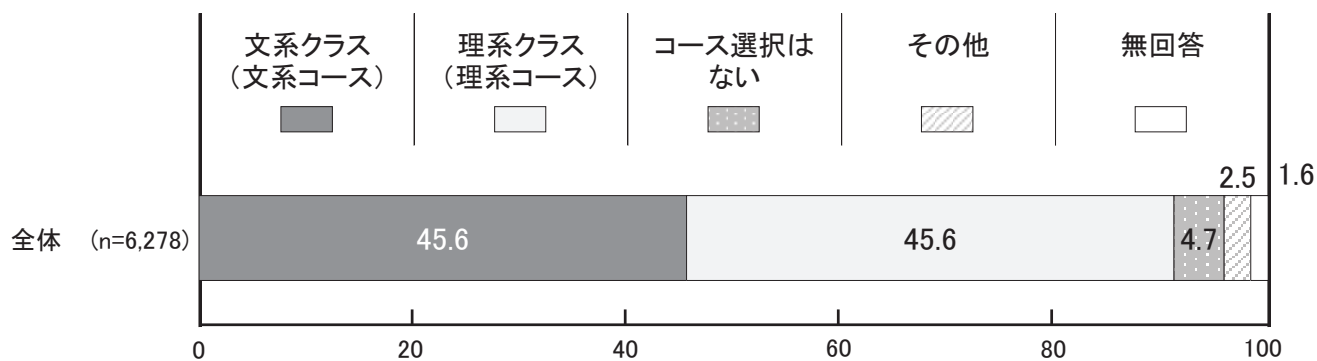
■高校種別



■高校所在地



■所属クラス

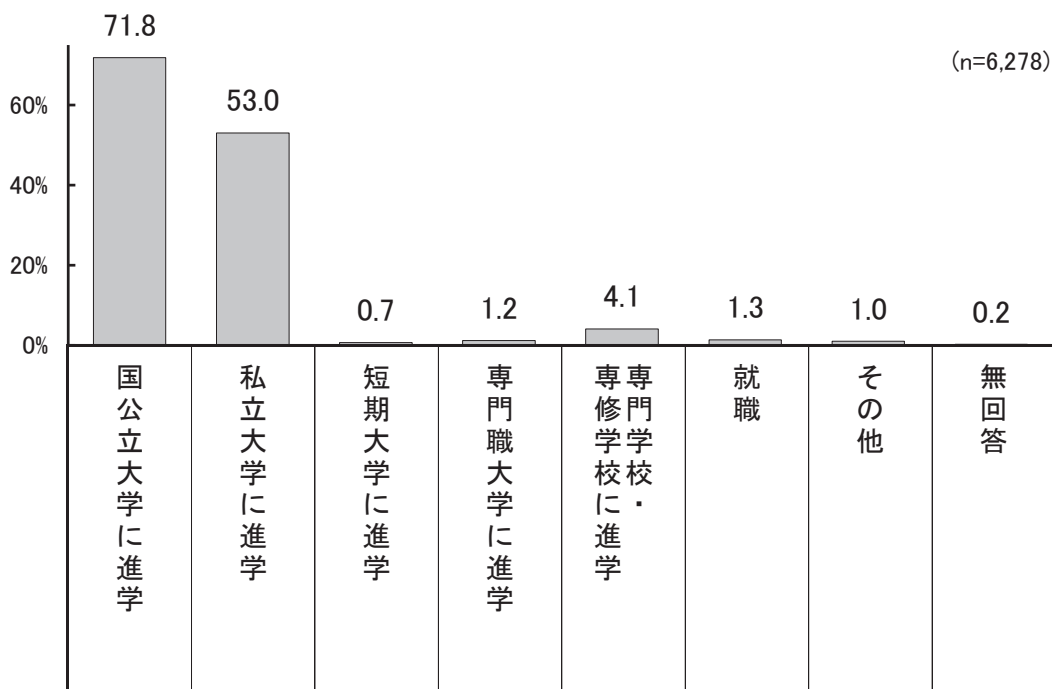


高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

■高校卒業後の希望進路

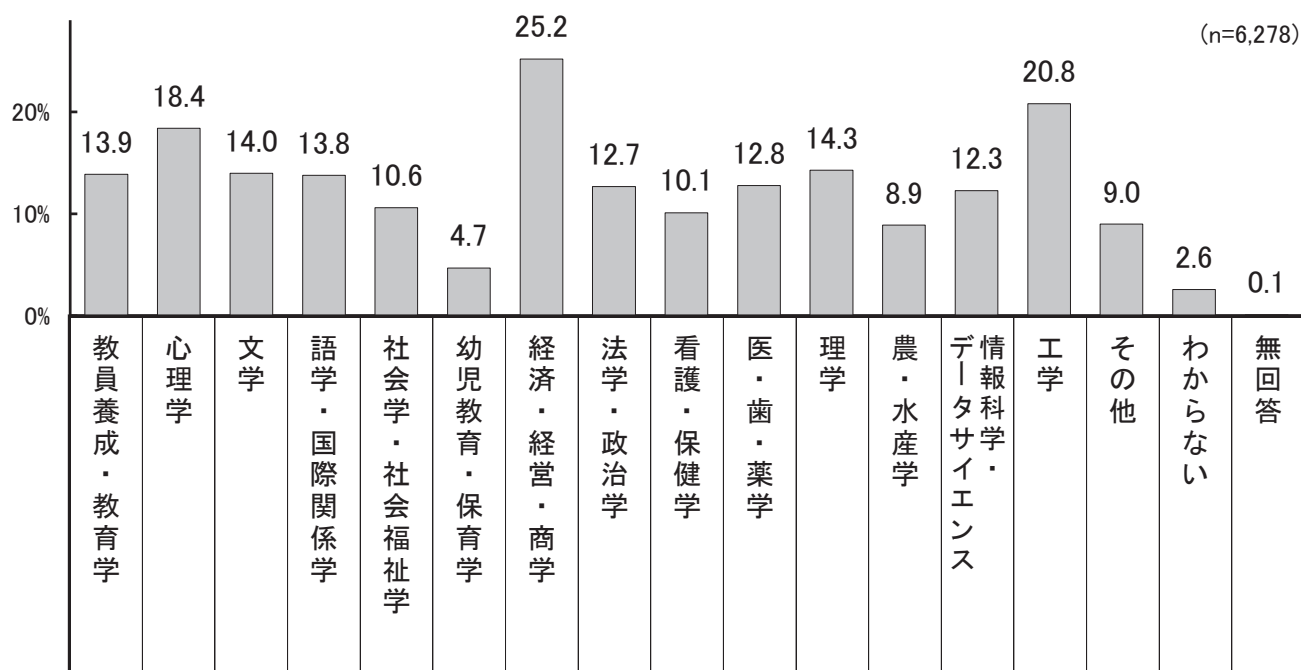
Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。

以下の項目のうち、現在検討している(希望している)進路の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



■興味のある学問系統

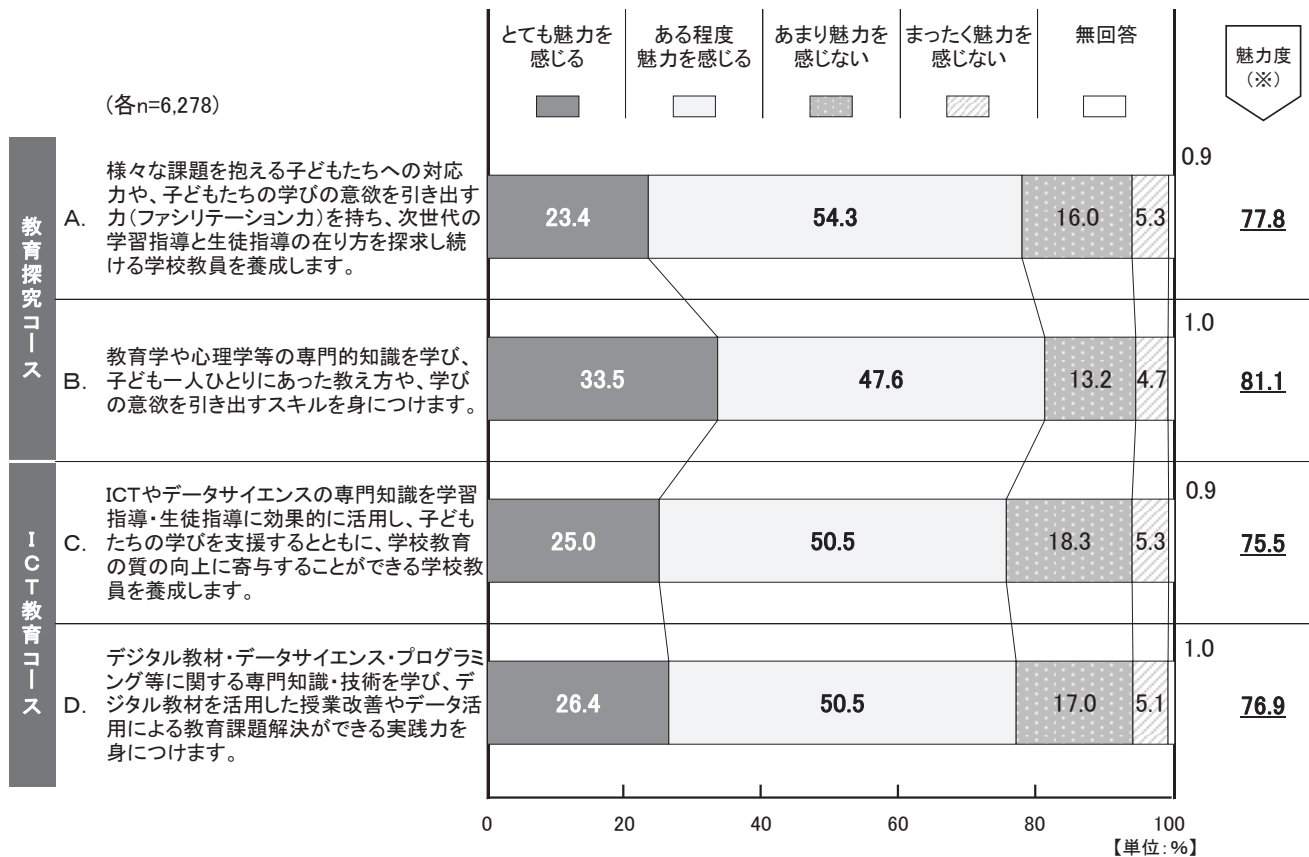
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも) (現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」の特色に対する魅力度

■大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」の特色に対する魅力度

Q3. 大阪教育大学 学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色をもつ、「教育探究コース」と「ICT教育コース」(いずれも仮称、設置構想中)の2コースがあります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



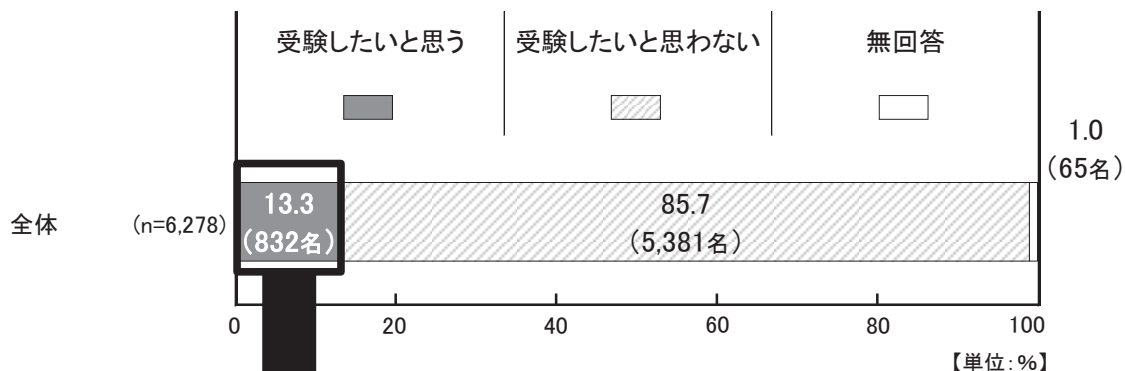
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」への受験意向／入学意向／受験意向別入学意向

■大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」への受験意向

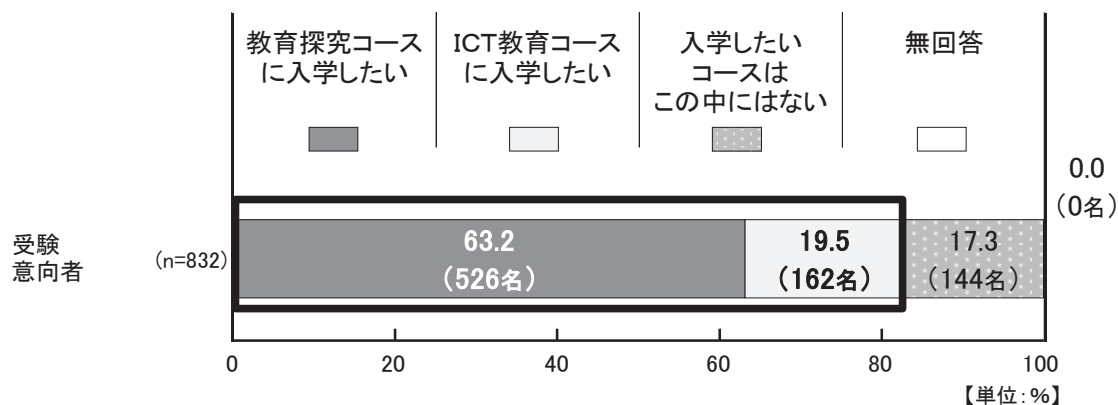
Q4. あなたは、大阪教育大学 学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」の「教育探究コース」または「ICT教育コース」（いずれも仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



「受験したいと思う」と答えた832名のみ抽出

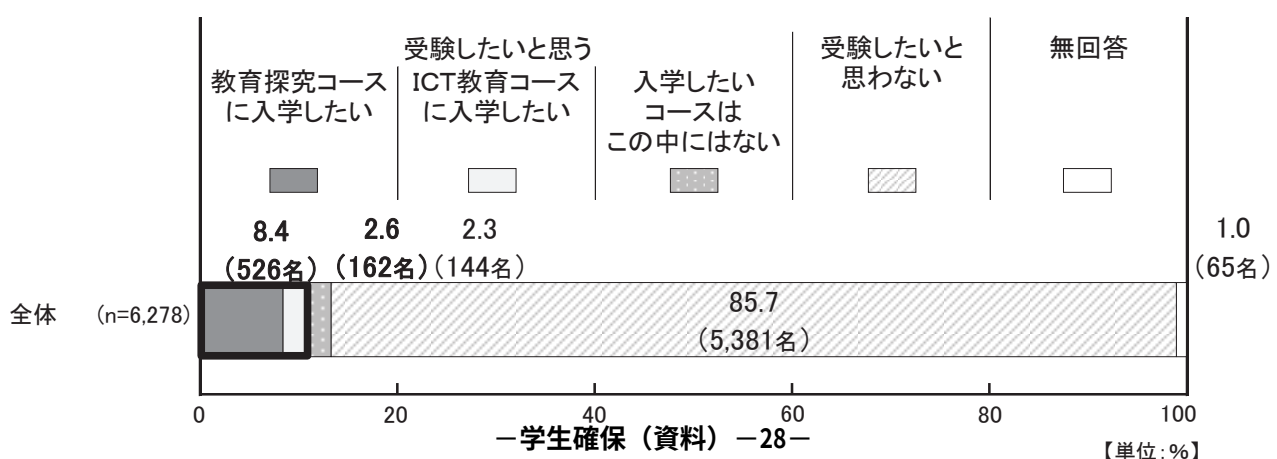
■大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」への入学意向

Q5. あなたは、大阪教育大学 学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、併願校よりも、大阪教育大学 学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」の「教育探究コース」または「ICT教育コース」（いずれも仮称、設置構想中）に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



「受験意向 (Q4)」と「入学意向 (Q5)」を
かけあわせて集計 (母数は全回答者)

■大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻」への受験意向別入学意向

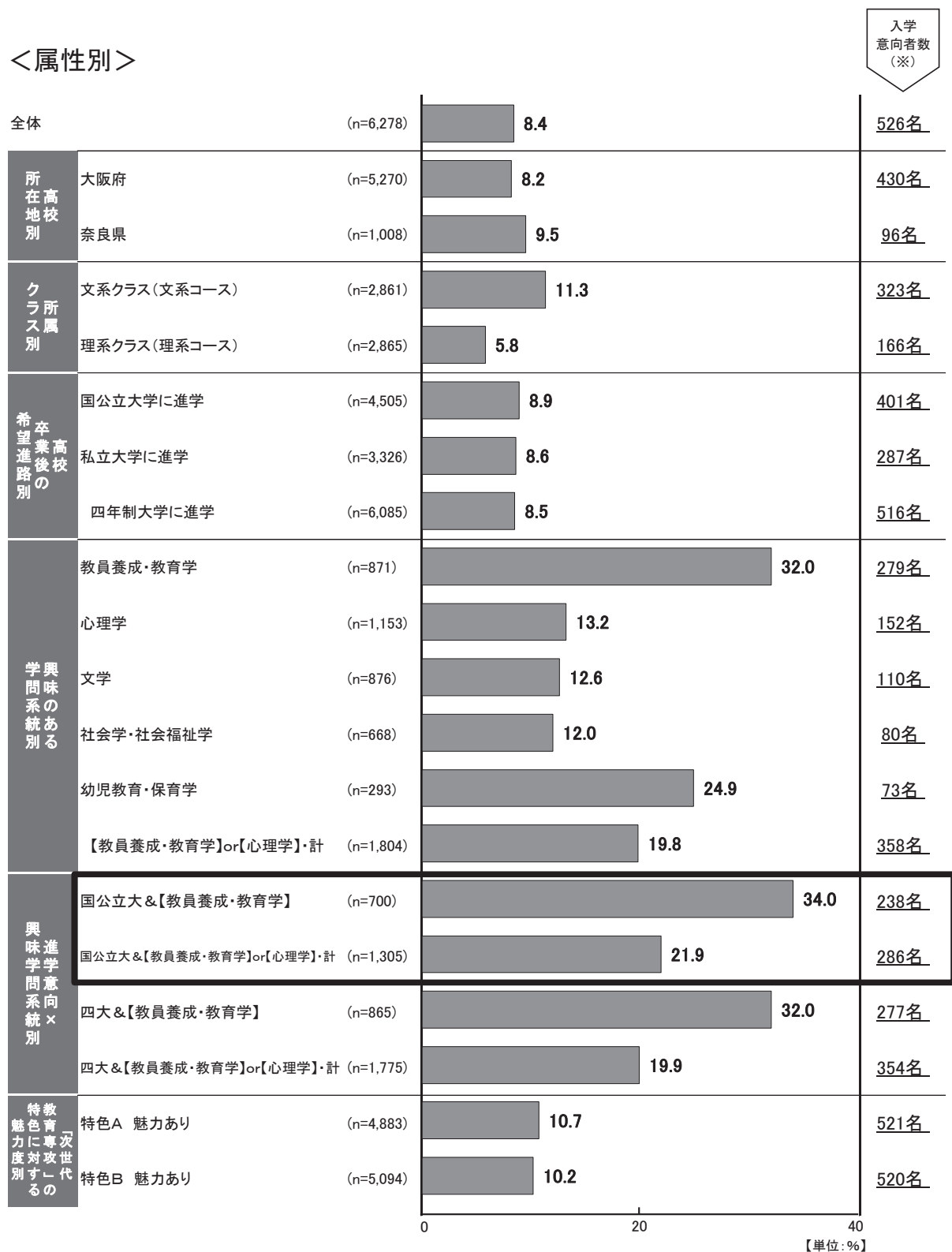


大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」への受験意向別入学意向＜属性別＞

■大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」への受験意向別入学意向＜属性別＞

※Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「教育探究コースに入学したい」と回答した人を大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース」の入学意向者と定義する。

＜属性別＞



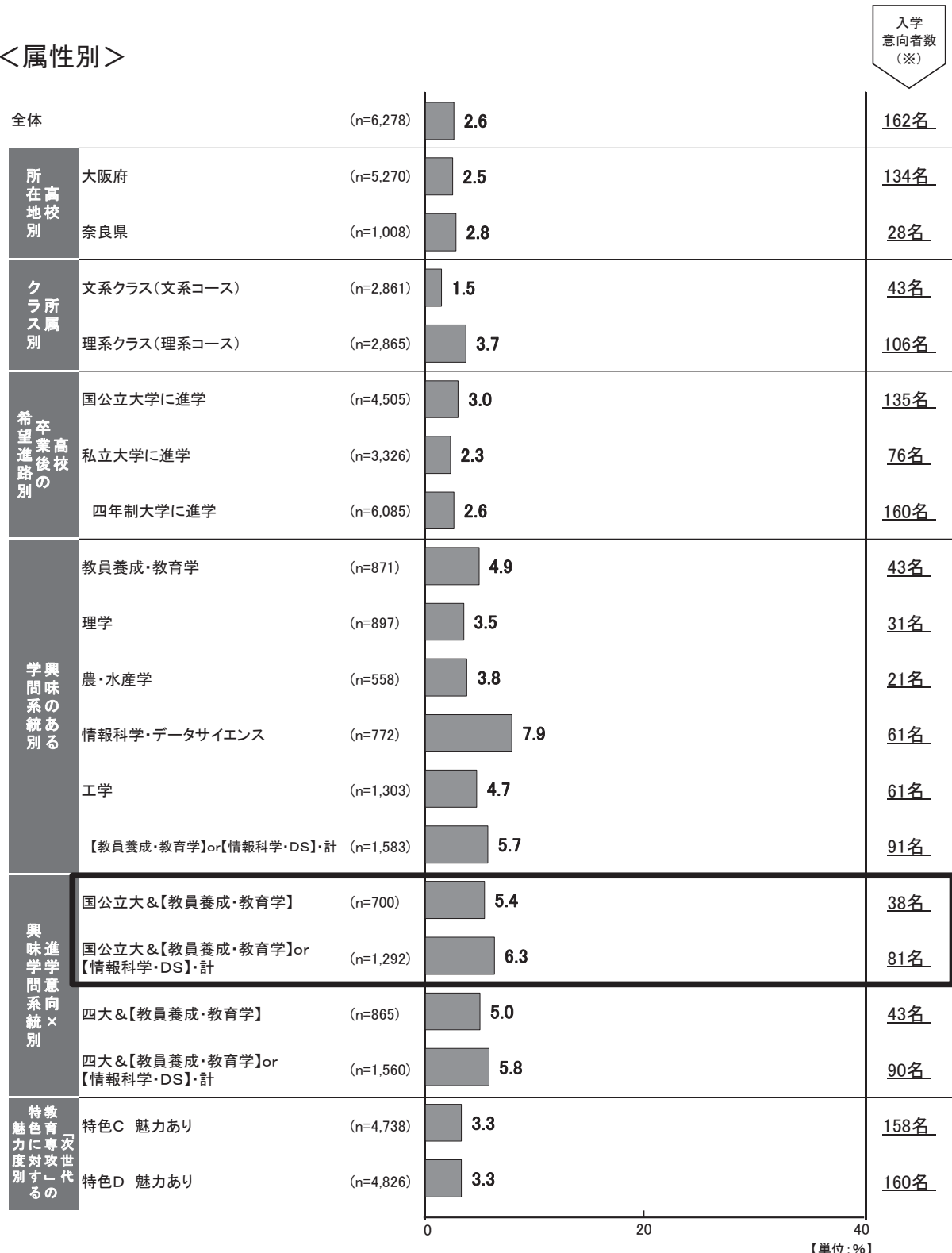
※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「教育探究コースに入学したい」と回答した人の人数

大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」への受験意向別入学意向＜属性別＞

■大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」への受験意向別入学意向＜属性別＞

※Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「ICT教育コースに入学したい」と回答した人を大阪教育大学「学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース」の入学意向者と定義する。

＜属性別＞



※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「ICT教育コースに入学したい」と回答した人の人数

卷末資料 調查票



大阪教育大学 学校教育教員養成課程 「次世代教育専攻」(仮称、設置構想中)に関するアンケート

大阪教育大学では、2024年(令和6年)4月に、学校教育教員養成課程に新しく「次世代教育専攻」(仮称)を設置することを構想しています。
このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、大阪教育大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートと同封した資料に記載されている学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入要領

1. 回答は、あてはまる番号に「○」印をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入は、必ず鉛筆又はシャープペンシルで濃く書いてください。
4. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。
特に、「○」印は、番号丸枠からはみ出さないようにつけてください。

ここに○印をつけてください



教員養成

ID 52

この欄には記入しないでください

良い
記入例 ○ 教員養成
② 心理学

悪い
記入例 ① 教員養成
② 心理学

① 教員養成
② 心理学

● 教員養成
② 心理学

① 教員養成
② 心理学

◆最初にあなた自身についてお聞きます。

学年 (1つに○)	① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生
在籍している 高校名	高校所在地 [] 都・道・府・県 ① 国立 ② 公立 ③ 私立 (←1つに○) [] 高等学校
所属クラス (1つに○)	① 文系クラス (文系コース) ③ コース選択はない ② 理系クラス (理系コース) ④ その他

※ Q1～Q5すべての質問に回答してください ※

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きます。

Q1 あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目のうち、現在検討している(希望している)進路の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- | | | |
|------------|----------------|-------|
| ① 国公立大学に進学 | ④ 専門職大学に進学 | ⑦ その他 |
| ② 私立大学に進学 | ⑤ 専門学校・専修学校に進学 | |
| ③ 短期大学に進学 | ⑥ 就職 | |

Q2 あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

- | | | |
|-------------|------------|-----------------|
| ① 教員養成・教育学 | ⑦ 経済・経営・商学 | ⑬ 情報科学・データサイエンス |
| ② 心理学 | ⑧ 法学・政治学 | ⑭ 工学 |
| ③ 文学 | ⑨ 看護・保健学 | ⑮ その他 |
| ④ 語学・国際関係学 | ⑩ 医・歯・薬学 | ⑯ わからない |
| ⑤ 社会学・社会福祉学 | ⑪ 理学 | |
| ⑥ 幼児教育・保育学 | ⑫ 農・水産学 | |

調査票

◆大阪教育大学 学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」(仮称、設置構想中)についてお聞きます。

大阪教育大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2024年(令和6年)4月に、学校教育教員養成課程に、新しく「次世代教育専攻」(仮称)を設置することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q3 大阪教育大学 学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色をもつ、「教育探究コース」と「ICT教育コース」(いずれも仮称、設置構想中)の2コースがあります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

			とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
	例. ○○である。	→	①	●	③	④
教育探究コース	A. 様々な課題を抱える子どもたちへの対応力や、子どもたちの学びの意欲を引き出す力(ファシリテーション力)を持ち、次世代の学習指導と生徒指導の在り方を探求し続ける学校教員を養成します。	→	①	②	③	④
	B. 教育学や心理学等の専門的知識を学び、子ども一人ひとりにあった教え方や、学びの意欲を引き出すスキルを身につけます。	→	①	②	③	④
ICT教育コース	C. ICTやデータサイエンスの専門知識を学習指導・生徒指導に効果的に活用し、子どもたちの学びを支援するとともに、学校教育の質の向上に寄与することができる学校教員を養成します。	→	①	②	③	④
	D. デジタル教材・データサイエンス・プログラミング等に関する専門知識・技術を学び、デジタル教材を活用した授業改善やデータ活用による教育課題解決ができる実践力を身につけます。	→	①	②	③	④

Q4 あなたは、大阪教育大学 学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」の「教育探究コース」または「ICT教育コース」(いずれも仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)
(回答した内容が、本学への受験や入学に影響することはありません。)

- ① 受験したいと思う ② 受験したいと思わない

Q5 あなたは、大阪教育大学 学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、併願校よりも、大阪教育大学 学校教育教員養成課程「次世代教育専攻」の「教育探究コース」または「ICT教育コース」(いずれも仮称、設置構想中)に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)
(回答した内容が、本学への受験や入学に影響することはありません。)

- ① 教育探究コースに入学したい ③ 入学したいコースはこの中にはない
② ICT教育コースに入学したい

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

■志願状況の推移（学部系統別 / 全体 ・ 私立）

株式会社リクルート入試実態調査

	志願者数(人)						2022年度指数 (2013年度＝100)
	全 体						
	2013年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
文科系 計	2,145,806	2,614,260	2,809,139	2,656,474	2,280,360	2,250,268	104.9
法学部	246,920	299,139	315,218	287,701	253,335	271,478	109.9
経済・政経学部	424,528	565,489	582,993	543,043	470,773	468,396	110.3
経営学部	231,922	335,796	392,393	384,978	326,175	317,458	136.9
商学部	114,186	132,185	135,848	130,437	116,058	108,393	94.9
社会学部	224,353	283,314	308,039	280,816	252,040	243,691	108.6
文・人文・外国語学部	618,189	733,823	785,742	756,582	627,392	616,574	99.7
教育学部	200,535	186,097	208,776	199,790	170,572	163,496	81.5
家政学部	82,540	74,572	75,158	69,002	59,913	56,944	69.0
総合文科系	2,633	3,845	4,972	4,125	4,102	3,838	145.8
理科系 計	1,477,831	1,641,818	1,710,328	1,755,251	1,594,655	1,649,169	111.6
理学部	145,686	135,099	143,046	142,451	127,151	134,530	92.3
理工学部	285,754	351,037	374,237	403,211	357,237	381,315	133.4
工学部	427,717	499,432	543,646	564,744	521,369	546,890	127.9
農学部	72,120	76,352	76,384	81,766	72,136	73,673	102.2
獣医・畜産学部	26,384	25,858	23,881	24,684	20,833	22,397	84.9
水産学部	11,197	10,266	10,653	9,678	8,175	7,338	65.5
医学部	159,243	165,218	157,833	149,019	140,159	139,617	87.7
歯学部	10,579	12,799	13,585	12,401	10,630	10,620	100.4
薬学部	113,217	104,485	97,344	90,133	81,689	85,199	75.3
保健・衛生学部	222,747	257,702	266,096	273,935	252,368	244,561	109.8
総合理科系	3,187	3,570	3,623	3,229	2,908	3,029	95.0
芸術・音楽学部	55,016	62,681	69,702	74,331	65,750	70,054	127.3
体育学部	39,637	44,512	43,023	43,569	36,098	33,879	85.5
その他	169,577	247,369	282,556	276,366	244,307	230,609	136.0
全 体	3,887,867	4,610,640	4,914,748	4,805,991	4,221,170	4,233,979	108.9

	私 立						2022年度指数 (2013年度=100)
	2013年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
文科系 計	1,936,360	2,410,898	2,599,931	2,463,411	2,097,837	2,065,268	106.7
法学部	227,795	280,352	295,587	269,533	234,598	253,426	111.3
経済・政経学部	373,609	511,305	527,028	489,618	422,721	418,252	111.9
経営学部	225,414	324,533	382,540	376,450	317,937	308,609	136.9
商学部	111,102	129,329	132,700	127,595	113,239	105,494	95.0
社会学部	203,623	263,091	286,905	261,723	235,275	226,055	111.0
文・人文・外国語学部	571,806	687,322	736,737	710,954	583,988	572,219	100.1
教育学部	141,262	141,102	162,690	158,097	129,996	124,005	87.8
家政学部	79,571	70,922	71,459	66,057	56,811	53,889	67.7
総合文科系	2,178	2,942	4,285	3,384	3,272	3,319	152.4
理科系 計	1,169,842	1,344,498	1,412,759	1,471,665	1,315,887	1,367,566	116.9
理学部	112,059	103,646	111,174	112,682	98,824	104,564	93.3
理工学部	261,791	317,034	334,414	363,942	322,907	344,920	131.8
工学部	302,133	380,879	431,255	455,944	410,860	437,869	144.9
農学部	49,096	55,432	54,516	61,227	51,485	52,810	107.6
獣医・畜産学部	23,354	22,920	21,098	21,683	18,425	19,466	83.4
水産学部	6,812	7,208	7,723	6,960	5,551	4,474	65.7
医学部	104,006	117,322	110,568	106,051	98,294	97,392	93.6
歯学部	6,383	9,091	9,874	8,957	7,372	7,460	116.9
薬学部	103,168	95,230	88,389	81,910	72,823	75,832	73.5
保健・衛生学部	201,040	235,736	243,748	252,309	229,346	222,779	110.8
総合理科系	-	-	-	-	-	-	-
芸術・音楽学部	45,309	51,800	58,978	63,583	55,715	60,169	132.8
体育学部	38,513	43,402	41,883	42,481	35,100	32,818	85.2
その他	144,835	221,255	257,278	251,924	216,152	204,963	141.5
全 体	3,334,859	4,071,853	4,370,829	4,293,064	3,720,691	3,730,784	111.9

* 表内数値は各年度回答のあった大学（非公表除く）の集計結果であり、対象校をそろえていない。

1113

4) 学部系統別志願状況

■ 志願状況 (学部系統別 / 全体)

	2022年度		2021年度		志願倍率		増減状況	
	募集人員 (人)	志願者数 (人)	募集人員 (人)	志願者数 (人)	2022年度 (倍)	2021年度 (倍)	2021～2022年度	
							増減数 (人)	増減率 (%)
文科系 計	289,704	2,250,268	285,826	2,280,360	7.8	8.0	▲ 29,701	▲ 1.3
法学部	29,863	271,478	29,665	253,335	9.1	8.5	18,143	7.2
経済・政経学部	51,526	468,396	50,677	470,773	9.1	9.3	▲ 2,377	▲ 0.5
経営学部	36,729	317,458	36,396	326,175	8.6	9.0	▲ 8,577	▲ 2.6
商学部	12,056	108,393	11,952	116,058	9.0	9.7	▲ 7,665	▲ 6.6
社会学部	29,571	243,691	29,922	252,040	8.2	8.4	▲ 8,371	▲ 3.3
文・人文・外国語学部	81,801	616,574	79,871	627,392	7.5	7.9	▲ 10,278	▲ 1.6
教育学部	33,591	163,496	32,939	170,572	4.9	5.2	▲ 7,343	▲ 4.3
家政学部	13,568	56,944	13,654	59,913	4.2	4.4	▲ 2,969	▲ 5.0
総合文科系	999	3,838	750	4,102	3.8	5.5	▲ 264	▲ 6.4
理科系 計	197,295	1,649,169	195,874	1,594,655	8.4	8.1	56,161	3.5
理学部	17,148	134,530	16,692	127,151	7.8	7.6	7,379	5.8
理工学部	28,733	381,315	27,907	357,237	13.3	12.8	24,078	6.7
工学部	58,046	546,890	57,883	521,369	9.4	9.0	25,521	4.9
農学部	10,045	73,673	10,240	72,136	7.3	7.0	1,537	2.1
獣医・畜産学部	2,886	22,397	2,846	20,833	7.8	7.3	1,564	7.5
水産学部	1,150	7,338	1,267	8,175	6.4	6.5	▲ 837	▲ 10.2
医学部	14,209	139,617	14,200	140,159	9.8	9.9	▲ 542	▲ 0.4
歯学部	2,363	10,620	2,412	10,630	4.5	4.4	117	1.1
薬学部	12,306	85,199	12,456	81,689	6.9	6.6	3,510	4.3
保健・衛生学部	49,336	244,561	48,866	252,368	5.0	5.2	▲ 6,287	▲ 2.5
総合理科系	1,073	3,029	1,105	2,908	2.8	2.6	121	4.2
芸術・音楽学部	14,503	70,054	14,461	65,750	4.8	4.5	4,304	6.5
体育学部	10,148	33,879	10,127	36,098	3.3	3.6	▲ 2,219	▲ 6.1
その他	33,599	230,609	34,177	244,307	6.9	7.1	▲ 13,858	▲ 5.7
全 体	545,249	4,233,979	540,465	4,221,170	7.8	7.8	14,687	0.3

* 志願者数は今年回答のあった大学（非公表除く）の集計である。

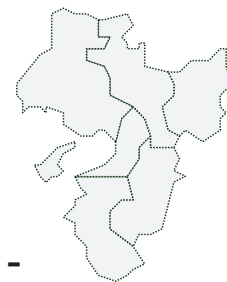
* 増減状況（増減数・増減率）は、'21年度と'22年度調査対象校をそろえて集計しているため図表内の募集人員・志願者数とは異なる。

1110

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

近畿版

- 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県 -



【将来予測 2021～2033年】

▶18歳人口予測 P2～P4

- ・2021年190,286人→2033年164,226人（26,060人減少）
- ・減少率が高いのは、奈良県（2021年比較20.6%減少）
- ・減少数が多いのは、大阪府（2021年79,549人→2033年68,819人、10,730人減少）

【経過推移 2012～2021年】

▶進学者数・進学率（現役）の推移 P5～P10

進学者数

- ・大学は、2012年89,088人→2021年99,736人（10,648人増加）と、12.0%増加
- ・短期大学は、2012年10,636人→2021年7,493人（3,143人減少）と、29.6%減少
- ・専門学校は、2012年24,622人→2021年25,257人（635人増加）と、2.6%増加

進学率（現役）

- ・大学は、2012年52.7%→2021年59.2%（6.5ポイント上昇）
- ・短期大学は、2012年6.3%→2021年4.4%（1.9ポイント低下）
- ・専門学校は、2012年14.6%→2021年15.0%（0.4ポイント上昇）

▶地元残留率の推移 P11～P13

- ・大学は、2012年44.7%→2021年47.0%（2.3ポイント上昇）
- ・短期大学は、2012年66.3%→2021年70.0%（3.7ポイント上昇）

▶近畿エリア概要（全体：府県別） P14～P16

■分析・データについて

- ① 18歳人口予測は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 - ・18歳人口＝3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数と義務教育学校卒業生数
 - ・中学校卒業生数＝高校生＋フリーター＋就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す（年＝年度）。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 卒業生数とは、高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）。
- ⑤ 進学者数とは、高等学校卒業生のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数。
- ⑥ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑦ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合（浪人含）。
- ⑧ 図表で利用している百分率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の和が100.0にならない場合がある。

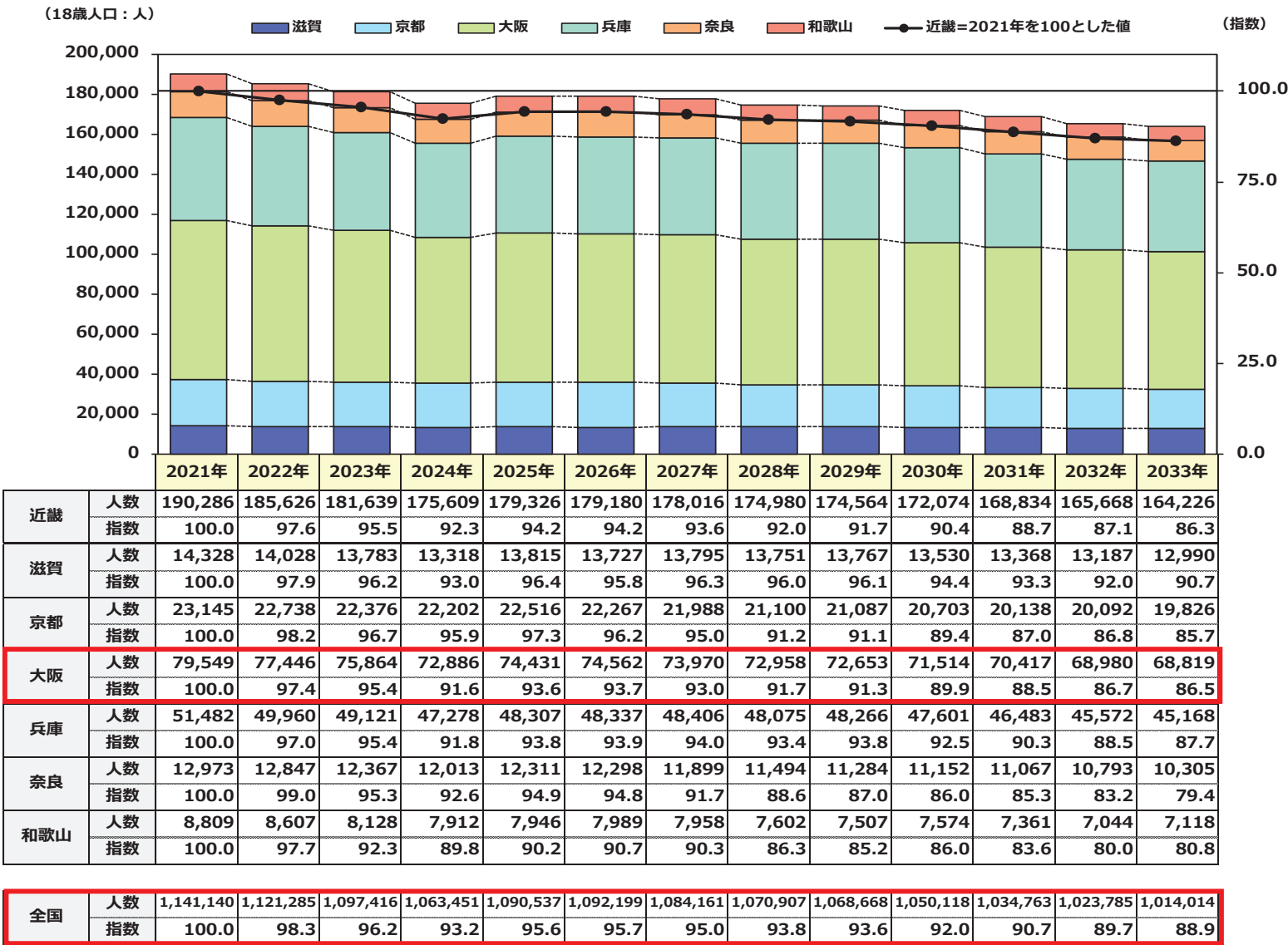
※専門学校＝専修学校専門課程

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
<https://souken.shingakunet.com/>

18歳人口予測（全体：近畿：2021～2033年）

■ 2021年190,286人→2033年164,226人（26,060人減少）

- ・近畿エリアは12年間で26,060人・13.7%減少し、全国の減少率11.1%を2.6ポイント上回る。
- ・2024年に175,609人まで減少し、翌2025年に3,717人増加するが、その後再び減少に転じる。
- ・減少率が高いのは、奈良県（2021年比較20.6%減少）。
- ・減少数が多いのは、大阪府（2021年79,549人→2033年68,819人、10,730人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：府県別：2012～2021年）

			2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
滋賀	卒業者数		12,067	12,690	12,082	12,360	12,656	12,884	12,737	12,729	12,786	12,548
	進学者数	大学	6,025	6,250	5,951	6,011	6,168	6,405	6,170	6,271	6,521	6,565
		短期大学	890	887	793	850	787	799	782	697	702	637
		専門学校	1,799	2,082	1,965	2,049	2,114	2,171	2,137	2,148	2,113	2,187
	進学率 (現役)	大学	49.9	49.3	49.3	48.6	48.7	49.7	48.4	49.3	51.0	52.3
		短期大学	7.4	7.0	6.6	6.9	6.2	6.2	6.1	5.5	5.5	5.1
		専門学校	14.9	16.4	16.3	16.6	16.7	16.9	16.8	16.9	16.5	17.4
京都	卒業者数		22,220	23,240	22,250	22,966	22,813	23,480	23,074	23,240	22,541	22,049
	進学者数	大学	13,270	13,606	13,178	13,911	13,846	14,256	13,959	14,158	14,155	14,444
		短期大学	1,431	1,382	1,303	1,254	1,231	1,243	1,134	1,044	1,019	868
		専門学校	2,998	3,350	3,096	3,155	3,128	3,217	3,162	3,106	3,111	3,033
	進学率 (現役)	大学	59.7	58.5	59.2	60.6	60.7	60.7	60.5	60.9	62.8	65.5
		短期大学	6.4	5.9	5.9	5.5	5.4	5.3	4.9	4.5	4.5	3.9
		専門学校	13.5	14.4	13.9	13.7	13.7	13.7	13.7	13.4	13.8	13.8
大阪	卒業者数		68,709	72,621	71,537	73,971	74,542	75,967	75,146	73,952	72,659	70,413
	進学者数	大学	35,406	37,004	37,040	39,169	40,561	40,882	40,461	40,096	41,060	41,801
		短期大学	4,563	4,799	4,640	4,657	4,385	4,368	4,139	3,886	3,749	3,338
		専門学校	10,294	10,852	10,770	11,155	10,953	11,413	10,987	11,401	11,566	10,913
	進学率 (現役)	大学	51.5	51.0	51.8	53.0	54.4	53.8	53.8	54.2	56.5	59.4
		短期大学	6.6	6.6	6.5	6.3	5.9	5.7	5.5	5.3	5.2	4.7
		専門学校	15.0	14.9	15.1	15.1	14.7	15.0	14.6	15.4	15.9	15.5
兵庫	卒業者数		44,641	46,319	45,473	46,090	46,442	47,411	46,566	46,132	45,077	44,167
	進学者数	大学	24,234	25,084	24,839	25,625	25,773	26,442	26,118	26,046	26,108	26,567
		短期大学	2,457	2,452	2,326	2,330	2,296	2,267	2,035	1,983	2,012	1,787
		専門学校	6,249	6,553	6,364	6,399	6,418	6,606	6,145	6,198	6,336	6,212
	進学率 (現役)	大学	54.3	54.2	54.6	55.6	55.5	55.8	56.1	56.5	57.9	60.2
		短期大学	5.5	5.3	5.1	5.1	4.9	4.8	4.4	4.3	4.5	4.0
		専門学校	14.0	14.1	14.0	13.9	13.8	13.9	13.2	13.4	14.1	14.1
奈良	卒業者数		12,114	12,585	12,000	12,153	12,166	12,282	12,158	11,630	11,830	11,338
	進学者数	大学	6,336	6,455	6,107	6,525	6,458	6,483	6,453	6,308	6,508	6,416
		短期大学	764	765	777	733	659	696	573	554	534	540
		専門学校	1,790	1,742	1,658	1,494	1,687	1,726	1,698	1,520	1,604	1,454
	進学率 (現役)	大学	52.3	51.3	50.9	53.7	53.1	52.8	53.1	54.2	55.0	56.6
		短期大学	6.3	6.1	6.5	6.0	5.4	5.7	4.7	4.8	4.5	4.8
		専門学校	14.8	13.8	13.8	12.3	13.9	14.1	14.0	13.1	13.6	12.8
和歌山	卒業者数		9,140	9,333	8,937	9,102	8,904	8,986	8,793	8,715	8,482	7,968
	進学者数	大学	3,817	3,860	3,837	3,731	3,853	3,819	3,705	3,779	3,965	3,943
		短期大学	531	558	535	560	518	533	461	414	366	323
		専門学校	1,492	1,637	1,594	1,729	1,620	1,502	1,580	1,522	1,523	1,458
	進学率 (現役)	大学	41.8	41.4	42.9	41.0	43.3	42.5	42.1	43.4	46.7	49.5
		短期大学	5.8	6.0	6.0	6.2	5.8	5.9	5.2	4.8	4.3	4.1
		専門学校	16.3	17.5	17.8	19.0	18.2	16.7	18.0	17.5	18.0	18.3

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業者数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

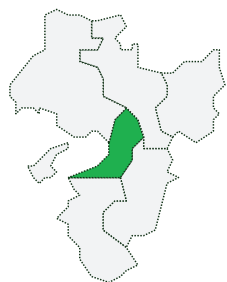
・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業業者数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程

近畿エリア概要（全体：府県別）

大阪府



学校数

大学 : 56 (国立 2・公立 2・私立 52)
短期大学 : 24 (私立 24)
専門学校 : 209 (国立 1・公立 1・私立 207)

卒業者数

2012年68,709人→2021年70,413人 (1,704人増加)

進学者数

大学 : 2012年35,406人→2021年41,801人 (6,395人増加)
短期大学 : 2012年 4,563人→2021年 3,338人 (1,225人減少)
専門学校 : 2012年10,294人→2021年10,913人 (619人増加)

進学率（現役）

大学 : 2012年51.5%→2021年59.4% (7.9ポイント上昇)
短期大学 : 2012年 6.6%→2021年 4.7% (1.9ポイント低下)
専門学校 : 2012年15.0%→2021年15.5% (0.5ポイント上昇)

残留率

大学 : 2012年54.6%→2021年58.9% (4.3ポイント上昇)
短期大学 : 2012年75.3%→2021年78.2% (2.9ポイント上昇)

入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位兵庫 (7,715人)、2位京都 (3,190人)、3位奈良 (3,079人)
短期大学 : 1位兵庫 (260人)、2位奈良 (208人)、3位京都 (164人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位京都 (7,066人)、2位兵庫 (4,927人)、3位奈良 (1,523人)
短期大学 : 1位兵庫 (376人)、2位京都 (169人)、3位奈良 (161人)

学校数

大学 : 36 (国立 2・公立 4・私立 30)
短期大学 : 15 (私立 15)
専門学校 : 80 (国立 1・公立 8・私立 71)

卒業者数

2012年44,641人→2021年44,167人 (474人減少)

進学者数

大学 : 2012年24,234人→2021年26,567人 (2,333人増加)
短期大学 : 2012年 2,457人→2021年 1,787人 (670人減少)
専門学校 : 2012年 6,249人→2020年 6,212人 (37人減少)

進学率（現役）

大学 : 2012年54.3%→2021年60.2% (5.9ポイント上昇)
短期大学 : 2012年 5.5%→2021年 4.0% (1.5ポイント低下)
専門学校 : 2012年14.0%→2021年14.1% (0.1ポイント上昇)

残留率

大学 : 2012年46.1%→2021年44.3% (1.8ポイント低下)
短期大学 : 2012年78.1%→2021年77.7% (0.4ポイント低下)

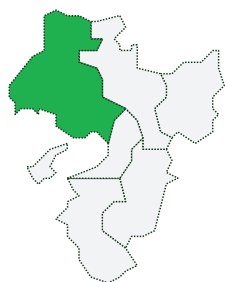
入学者流入元 ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (4,927人)、2位京都 (789人)、3位岡山 (629人)
短期大学 : 1位大阪 (376人)、2位京都 (71人)、3位奈良 (49人)

入学者流出先 ※地元は除く

大学 : 1位大阪 (7,715人)、2位京都 (2,803人)、3位東京 (993人)
短期大学 : 1位大阪 (260人)、2位京都 (46人)、3位東京 (14人)

兵庫県



- ・学校数 : 大学・短期大学は本部の所在地 (2020年学校基本調査より)
- ・卒業者数 : 高等学校卒業した数 (全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・進学者数 : 高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校(※)に進学した数
- ・進学率(現役) : 進学者数(大学・短期大学・専門学校(※))÷高等学校卒業者数(全日制・定時制+中等教育学校後期課程)
- ・残留率 : 自県内(地元)の大学・短期大学入学者数のうち自県内(地元)の高校出身の大学・短期大学入学者の割合(浪人含)
- ・流入 : 自県内(地元)の大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の高校出身者が大学・短期大学に入学したこと(浪人含)
- ・流出 : 自県内(地元)の高校出身者が大学・短期大学に入学したうち、自県以外(地元以外)の大学・短期大学に入学したこと(浪人含)

※専門学校=専修学校専門課程

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

【将来予測 2021～2033年】

■18歳人口予測 P3～P8

- ・2021年114.1万人→2033年101.4万人（12.7万人減少）
- ・東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
- ・2021年比減少率が高いのは東北（79.5%）、減少数が多いのは近畿（26,060人減）

【経過推移 2012年～2021年】

■進学率（現役・過年度含）の推移 P9～P15

大学進学率（現役）

- ・2012年47.7%→2021年52.9%（5.2ポイント上昇）
- ・上昇が大きいのは、1位 北海道（126.4）、2位 四国（115.0）、3位 東北（113.2）※注
- ・進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率（現役）

- ・2012年5.5%→2021年4.0%（1.5ポイント低下）
- ・低下が大きいのは、1位 南関東（65.1）、2位 中国（69.5）、3位 近畿（69.8）※注
- ・進学率が高いのは、北陸、甲信越、東北

専門学校進学率（現役）

- ・2012年16.8%→2021年17.3%（0.5ポイント上昇）
- ・上昇が大きいのは、1位 南関東（108.7）、2位 九州沖縄（105.8）、3位 東海（104.2）※注
- ・進学率が高いのは、北海道、甲信越、九州沖縄

都道府県別進学率（現役・2021年）

- ・大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は鳥取、専門学校進学率1位は沖縄

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・2012～2021年）

- ・2021年現役と過年度含の進学率の差は、大学は2.0ポイント（過年度含が高い）
- ・短期大学は差なし

注）※の（）内の数値は、2012年を100としたときの2021年の指数

■地元残留率の推移 P16～P24

- ・大学入学者の地元残留率は、2012年43.2%→2021年44.7%（1.5ポイント上昇）
- ・短期大学入学者の地元残留率は、2012年67.8%→2021年71.3%（3.5ポイント上昇）
- ・大学入学者の地元残留率1位は愛知（71.3%）
- ・短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（93.0%）

■18歳人口減少率×地元残留率 P25・26

- ・大学入学者：都道府県別：2021→2033年
- ・短期大学入学者：都道府県別：2021→2033年

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
<https://souken.shingakunet.com/>

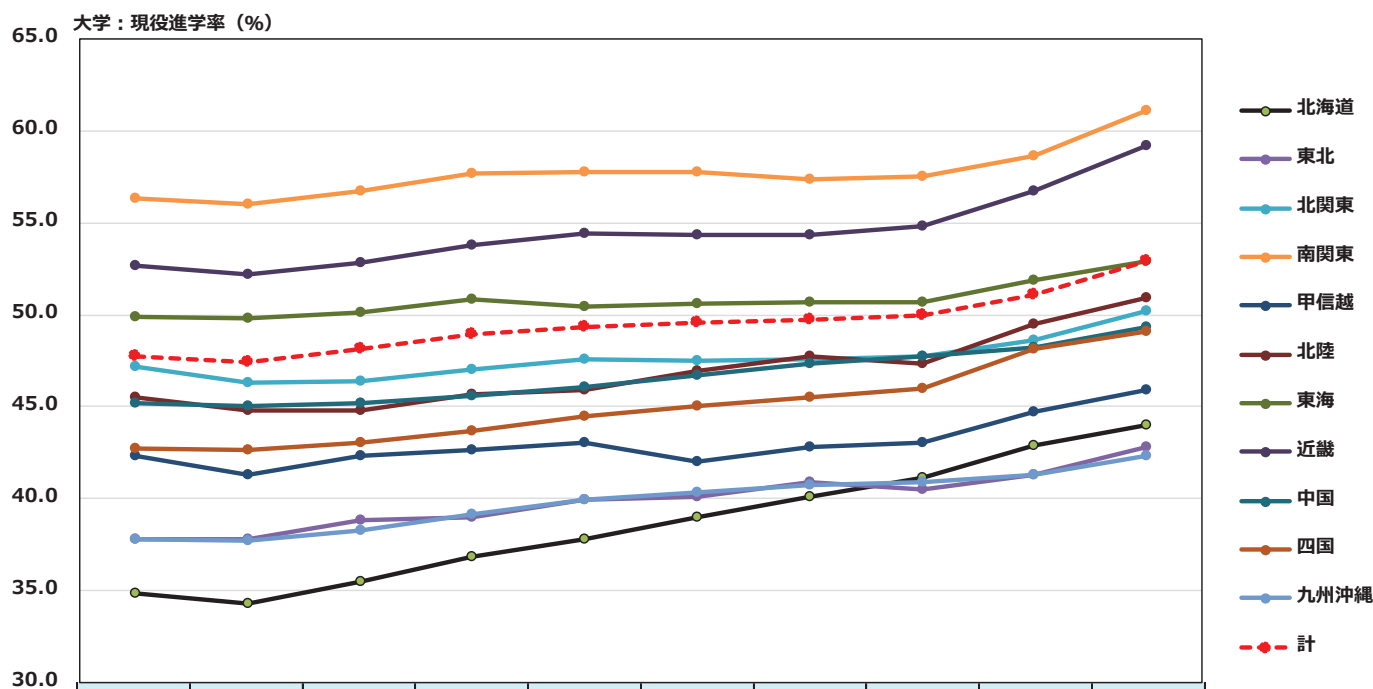
大学進学率の推移（現役：エリア別：2012～2021年）

■2012年47.7%→2021年52.9%（5.2ポイント上昇）

- ・全体の大学進学率は2012年47.7%→2021年52.9%と、10年間で5.2ポイント上昇。
2019年から50%台の進学率となっている。
- 2016～2018年の3年間は横ばいのトレンド（49.3%→49.7%）。

- ・上昇が大きいのは、1位 北海道（126.4） 、2位 四国（115.0） 、3位 東北（113.2） 。※注
- ・上昇が小さいのは、1位 東海（106.0） 、2位 南関東・甲信越（108.5） 。※注
- ・2021年進学率が高いのは、1位 南関東（61.1%） 、2位 近畿（59.2%） 、3位 東海（52.9%） 。

※注（ ）内は指数＝2012年を100として算出



		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
計	進学率	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9
	指数	100.0	99.4	100.8	102.5	103.4	104.0	104.2	104.8	107.1	110.9
北海道	進学率	34.8	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1	41.1	42.9	44.0
	指数	100.0	98.6	102.0	105.7	108.6	112.1	115.2	118.1	123.3	126.4
東北	進学率	37.8	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9	40.5	41.3	42.8
	指数	100.0	100.0	102.6	103.2	105.6	106.1	108.2	107.1	109.3	113.2
北関東	進学率	47.2	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6	47.7	48.6	50.2
	指数	100.0	98.1	98.3	99.6	100.8	100.6	100.8	101.1	103.0	106.4
南関東	進学率	56.3	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4	57.5	58.6	61.1
	指数	100.0	99.5	100.7	102.5	102.7	102.7	102.0	102.1	104.1	108.5
甲信越	進学率	42.3	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8	43.0	44.7	45.9
	指数	100.0	97.6	100.0	100.7	101.7	99.3	101.2	101.7	105.7	108.5
北陸	進学率	45.5	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7	47.3	49.5	50.9
	指数	100.0	98.5	98.5	100.4	100.9	103.1	104.8	104.0	108.8	111.9
東海	進学率	49.9	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7	50.7	51.9	52.9
	指数	100.0	99.8	100.4	101.8	101.0	101.4	101.6	101.6	104.0	106.0
近畿	進学率	52.7	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7	59.2
	指数	100.0	99.1	100.2	102.1	103.2	103.0	103.0	104.0	107.6	112.3
中国	進学率	45.2	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3	47.7	48.2	49.3
	指数	100.0	99.6	100.0	100.9	102.0	103.3	104.6	105.5	106.6	109.1
四国	進学率	42.7	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5	46.0	48.1	49.1
	指数	100.0	99.8	100.7	102.3	104.2	105.4	106.6	107.7	112.6	115.0
九州沖縄	進学率	37.8	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3	42.3
	指数	100.0	99.7	101.3	103.4	105.6	106.6	107.7	108.2	109.3	111.9

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

近畿圏競合校の教育学系大学の受験・入学状況

国立

大学名	学部学科	年度	志願者数	入学定員数	入学者数	志願倍率	定員充足率
滋賀大学	教育学部学校教育教員養成課程	2022	845	230	237	3.67	103.0%
		2021	933	230	242	4.06	105.2%
		2020	868	230	232	3.77	100.9%
		平均	882	230.0	237.0	3.83	103.0%
京都教育大学	教育学部学校教育教員養成課程	2022	907	300	327	3.02	109.0%
		2021	969	300	322	3.23	107.3%
		2020	771	300	323	2.57	107.7%
		平均	870	300.0	322.5	2.90	107.5%
兵庫教育大学	学校教育学部学校教育教員養成課程	2022	576	160	160	3.60	100.0%
		2021	697	160	166	4.36	103.8%
		2020	771	160	167	4.82	104.4%
		平均	681	160.0	164.3	4.26	102.7%
神戸大学	国際人間科学部子ども教育学科	2022	201	50	51	4.02	102.0%
		2021	177	50	51	3.54	102.0%
		2020	152	50	50	3.04	100.0%
		平均	177	50.0	50.7	3.53	101.3%
奈良教育大学	教育学部学校教育教員養成課程	2022	1,124	255	269	4.41	105.5%
		2021	1,251	255	268	4.91	105.1%
		2020	1,195	255	264	4.69	103.5%
		平均	1,190	255.0	267.0	4.67	104.7%
和歌山大学	教育学部学校教育教員養成課程	2022	537	165	171	3.25	103.6%
		2021	592	165	171	3.59	103.6%
		2020	650	165	170	3.94	103.0%
		平均	593	165.0	170.7	3.59	103.4%

近畿地区全大学平均	平均	734	193.3	202.3	3.80	104.6%
-----------	----	-----	-------	-------	------	--------

志願者数国立6大学計	2022	4,190
	2021	4,619
	2020	4,407

私立

大学名	学部学科	年度	志願者数	入学定員数	入学者数	志願倍率	定員充足率
大和大学 (大阪府)	教育学部教育学科	2022	2,670	190	220	14.1	115.8%
		2021	2,963	190	220	15.6	115.8%
		2020	2,564	190	220	15.6	115.8%
		平均	2,732	190.0	220.0	14.4	115.8%
四天王寺大学 (大阪府)	教育学部教育学科	2022	1,363	240	275	5.7	114.6%
		2021	1,887	240	276	7.9	115.0%
		2020	2,893	240	247	12.1	102.9%
		平均	2,048	240.0	266.0	8.5	110.8%
畿央大学 (奈良県香芝市)	教育学部現代教育学科	2022	3,000	195	194	15.4	99.5%
		2021	2,545	195	193	13.1	99.0%
		2020	4,373	195	197	22.4	101.0%
		平均	3,306	195.0	194.7	17.0	99.8%

近畿地区全大学平均	平均	2,299	173.5	190.9	13.26	110.1%
-----------	----	-------	-------	-------	-------	--------

志願者数私立3大学計	2022	7,033
	2021	7,395
	2020	9,830

※各数値は各大学HPから抜粋

教員養成課程専攻・コース別受験倍率の推移（H29～R4）

既存教員養成課程の志願倍率

課程	専攻	コース	日程	募集人員（●）						受験者数（■）						受験倍率（■／●）						平均	
				H29	H30	H31	R2	R3	R4	H29	H30	H31	R2	R3	R4	H29	H30	H31	R2	R3	R4		
初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		課す推薦	3	3	3	3	3	3	15	25	14	14	14	12	5.0	8.3	4.7	4.7	4.7	4.0	5.2	
			前期	12	12	12	12	12	12	31	23	23	28	28	18	2.6	1.9	1.9	2.3	2.3	1.5	2.1	
			計	15	15	15	15	15	15	46	48	37	42	42	30	3.1	3.2	2.5	2.8	2.8	2.0	2.7	
	小学校教育専攻	昼間コース	課す推薦	10	10	10	10	10	10	35	48	65	48	43	37	3.5	4.8	6.5	4.8	4.3	3.7	4.6	
			課す推薦（特別枠）	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	20	—	—	—	—	—	—	4.0	4.0	
			前期	20	20	20	20	20	20	34	27	54	38	38	40	1.7	1.4	2.7	1.9	1.9	2.0	1.9	
			後期	15	15	15	15	15	10	29	22	40	23	43	33	1.9	1.5	2.7	1.5	2.9	3.3	2.3	
			計	45	45	45	45	45	45	98	97	159	109	124	130	2.2	2.2	3.5	2.4	2.8	2.9	2.7	
		夜間5年コース	課す推薦	5	5	5	5	5	5	3	6	5	2	1	1	0.6	1.2	1.0	0.4	0.2	0.2	0.6	
			前期	20	20	20	20	20	20	60	51	69	62	58	37	3.0	2.6	3.5	3.1	2.9	1.9	2.8	
			後期	15	15	15	15	15	15	66	58	58	55	37	24	4.4	3.9	3.9	3.7	2.5	1.6	3.3	
			計	40	40	40	40	40	40	129	115	132	119	96	62	3.2	2.9	3.3	3.0	2.4	1.6	2.7	
			計	85	85	85	85	85	85	227	212	291	228	220	192	2.7	2.5	3.4	2.7	2.6	2.3	2.7	
計	100	100	100	100	100	100	273	260	328	270	262	222	2.7	2.6	3.3	2.7	2.6	2.2	2.7				
学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		課す推薦	5	5	7	7	7	7	12	15	12	10	10	13	2.4	3.0	1.7	1.4	1.4	1.9	2.0	
			前期	30	30	30	30	30	30	34	75	42	35	65	41	1.1	2.5	1.4	1.2	2.2	1.4	1.6	
			後期	10	10	8	8	8	8	14	27	14	8	27	13	1.4	2.7	1.8	1.0	3.4	1.6	2.0	
	小中教育専攻	学校教育コース	課す推薦	5	5	7	7	8	8	18	20	18	20	21	7	3.6	4.0	2.6	2.9	2.6	0.9	2.8	
			前期	20	20	18	18	17	17	23	38	21	30	22	50	1.2	1.9	1.2	1.7	1.3	2.9	1.7	
			計	25	25	25	25	25	25	41	58	39	50	43	57	1.6	2.3	1.6	2.0	1.7	2.3	1.9	
		国語教育コース	課す推薦	5	5	7	7	7	7	25	16	6	21	13	17	5.0	3.2	0.9	3.0	1.9	2.4	2.7	
			前期	23	23	23	23	23	23	39	33	40	43	40	39	1.7	1.4	1.7	1.9	1.7	1.7	1.7	
			後期	12	12	10	10	10	10	29	31	23	28	28	12	2.4	2.6	2.3	2.8	2.8	1.2	2.4	
			計	40	40	40	40	40	40	93	80	69	92	81	68	2.3	2.0	1.7	2.3	2.0	1.7	2.0	
		英語教育コース	課す推薦	4	4	4	4	4	4	9	16	3	15	15	8	2.3	4.0	0.8	3.8	3.8	2.0	2.8	
			前期	11	11	11	11	11	11	26	23	18	14	46	17	2.4	2.1	1.6	1.3	4.2	1.5	2.2	
		社会科教育コース	課す推薦	5	5	7	7	7	7	26	21	23	25	27	20	5.2	4.2	3.3	3.6	3.9	2.9	3.8	
			前期	30	30	28	28	28	28	49	52	48	31	46	35	1.6	1.7	1.7	1.1	1.6	1.3	1.5	
			計	35	35	35	35	35	35	75	73	71	56	73	55	2.1	2.1	2.0	1.6	2.1	1.6	1.9	
		数学教育コース	前期	15	15	15	15	15	15	27	36	34	32	24	34	1.8	2.4	2.3	2.1	1.6	2.3	2.1	
			後期	10	10	10	10	10	10	20	26	35	22	25	38	2.0	2.6	3.5	2.2	2.5	3.8	2.8	
			計	25	25	25	25	25	25	47	62	69	54	49	72	1.9	2.5	2.8	2.2	2.0	2.9	2.4	
		理科教育コース	課す推薦	—	—	—	5	5	5	—	—	—	12	15	13	—	—	—	—	2.4	3.0	2.6	2.7
			前期	27	27	27	25	25	25	42	48	47	26	73	37	1.6	1.8	1.7	1.0	2.9	1.5	1.8	
			後期	8	8	8	5	5	5	5	14	11	14	23	9	0.6	1.8	1.4	2.8	4.6	1.8	2.2	
			計	35	35	35	35	35	35	47	62	58	52	111	59	1.3	1.8	1.7	1.5	3.2	1.7	1.9	
		家政教育コース	課す推薦	3	3	3	3	2	2	0	5	2	5	2	2	0.0	1.7	0.7	1.7	1.0	1.0	1.0	
			前期	7	7	7	7	8	8	16	7	21	5	22	9	2.3	1.0	3.0	0.7	2.8	1.1	1.8	
			計	10	10	10	10	10	10	16	12	23	10	24	11	1.6	1.2	2.3	1.0	2.4	1.1	1.6	
		保健体育コース	前期	20	20	20	20	20	20	62	57	90	58	60	80	3.1	2.9	4.5	2.9	3.0	4.0	3.4	
			後期	10	10	10	10	10	10	37	29	59	32	35	40	3.7	2.9	5.9	3.2	3.5	4.0	3.9	
			計	30	30	30	30	30	30	99	86	149	90	95	120	3.3	2.9	5.0	3.0	3.2	4.0	3.6	
		音楽教育コース	課す推薦	3	3	3	3	3	3	2	24	12	11	10	11	0.7	8.0	4.0	3.7	3.3	3.7	3.9	
			前期	7	7	7	7	7	7	21	21	16	12	15	19	3.0	3.0	2.3	1.7	2.1	2.7	2.5	
			計	10	10	10	10	10	10	23	45	28	23	25	30	2.3	4.5	2.8	2.3	2.5	3.0	2.9	
		美術・書道教育コース	前期	10	10	10	10	10	10	33	23	19	16	22	17	3.3	2.3	1.9	1.6	2.2	1.7	2.2	
			後期	5	5	5	5	5	5	25	15	9	27	10	10	5.0	3.0	1.8	5.4	2.0	2.0	3.2	
		計	15	15	15	15	15	15	58	38	28	43	32	27	3.9	2.5	1.9	2.9	2.1	1.8	2.5		
		計	240	240	240	240	240	240	534	555	555	499	594	524	2.2	2.3	2.3	2.1	2.5	2.2	2.3		
	中等教育専攻	国語教育コース	課す推薦	3	3	3	3	3	3	9	11	18	9	13	10	3.0	3.7	6.0	3.0	4.3	3.3	3.9	
			前期	7	7	7	7	7	7	14	14	6	14	19	12	2.0	2.0	0.9	2.0	2.7	1.7	1.9	
			計	10	10	10	10	10	10	23	25	24	23	32	22	2.3	2.5	2.4	2.3	3.2	2.2	2.5	
		英語教育コース	課す推薦	4	4	4	4	4	4	10	17	28	16	12	10	2.5	4.3	7.0	4.0	3.0	2.5	3.9	
			前期	11	11	11	11	11	11	20	23	14	23	18	19	1.8	2.1	1.3	2.1	1.6	1.7	1.8	
			計	15	15	15	15	15	15	30	40	42	39	30	29	2.0	2.7	2.8	2.6	2.0	1.9	2.3	
		社会科教育コース	課す推薦	3	3	4	4	4	4	17	22	31	29	30	22	5.7	7.3	7.8	7.3	7.5	5.5	6.8	
			前期	7	7	6	6	6	6	25	13	11	10	9	18	3.6	1.9	1.8	1.7	1.5	3.0	2.2	
			計	10	10	10	10	10	10	42	35	42	39	39	40	4.2	3.5	4.2	3.9	3.9	4.0	4.0	
		数学教育コース	前期	10	10	10	10	10	10	28	29	30	18	25	31	2.8	2.9	3.0	1.8	2.5	3.1	2.7	
			後期	15	15	15	15	15	15	34	36	22	28	43	33	2.3	2.4	1.5	1.9	2.9	2.2	2.2	
			計	25	25	25	25	25	25	62	65	52	46	68	64	2.5	2.6	2.1	1.8	2.7	2.6	2.4	
		理科教育コース	課す推薦	—	—	—	3	3	3	—	—	—	22	17	17	—	—	—	—	7.3	5.7	5.7	6.2
前期			18	18	18	18	18	18	36	36	30	27	37	26	2.0	2.0	1.7	1.5	2.1	1.4	1.8		
後期			7	7	7	4	4	4	11	7	10	8	11	3	1.6	1.0	1.4	2.0	2.8	0.8	1.6		
計		25	25	25	25	25	25	47	43	40	57	65	46	1.9	1.7	1.6	2.3	2.6	1.8	2.0			
技術教育コース		課さない推薦	4	4	4	4	4	4	8	5	6	9	7	11	2.0	1.3	1.5	2.3	1.8	2.8	1.9		
		前期	6	6	6	6	6	6	16	9	4	4	6	7	2.7	1.5	0.7	0.7	1.0	1.2	1.3		
	計	10	10	10	10	10	10	24	14	10	13	13	18	2.4	1.4	1.0	1.3	1.3	1.8	1.5			
家政教育コース	課す推薦	3	3	3	3	3	3	4	2	1	6	2	4	1.3	0.7	0.3	2.0	0.7	1.3	1.1			
	前期	7	7	7	7	5	5	7	7	16	11	12	5	1.0	1.0	2.3	1.6	2.4	1.0	1.5			
	後期	—	—	—	2	2	—	—	—	—	12	6	—	—	—	—	—	6.0	3.0	4.5			
計	10	10	10	10	10	10	11	9	17	17	26	15	1.1	0.9	1.7	1.7	2.6	1.5					

3年ぶりにオープンキャンパスを対面開催

[ホーム](#) > [大学紹介](#) > [広報](#) > [トピックス一覧](#) > 3年ぶりにオープンキャンパスを対面開催

年を選択

Tweet

2022.08.10

3年ぶりにオープンキャンパスを対面開催

オープンキャンパス2022を、7月30日（土）はオンライン形式で、31日（日）は実に3年ぶりとなる対面形式で開催しました。2日間を通して、学長メッセージ、入試アドバイザーによる大学紹介、課程専攻コースの紹介、卒業生からのメッセージ、クラブ・サークルの紹介をオンデマンドで配信し、オンライン・対面併せて約4,000人が参加しました。

30日（土）は、課程・専攻・コース別の全体説明会、ライブでの模擬授業、入試アドバイザーによる個別相談会など、双方向コミュニケーションのプログラムを実施しました。

31日（日）は、対面での模擬授業や専攻・コース別の個別相談会のほか、保護者のための講座、学生によるキャンパスツアーなどを実施しました。また、学生オーケストラによるミニコンサート、クラブ・サークルによる演劇やダンスなどのパフォーマンスも披露され、多くの高校生らが足を運びました。

参加者からは、「学生の生の声や学生生活、受験に向けてのアドバイスなどもあり、とても分かりやすかったです。入学したい気持ちがより高まりました」「実際に大学に行って、模擬授業に参加するなどの体験や見学ができる内容でしたので、娘にとって貴重な体験となったようです」などの感想が寄せられました。

なお、入試アドバイザーによる個別相談会は引き続き実施しており、[大学ウェブページ](#)から申込可能です。



キャンパス案内をする学生スタッフ



家政教育コースの模擬授業の様子



保護者のための講座の様子



ミニコンサートの様子

大学紹介

[学長からのメッセージ](#)

[大学運営](#)

[広報](#)

[トピックス一覧](#)

[トピックスバックナンバー
\(2011年～2020年\)](#)

[プレスリリース](#)

[メディア掲載情報](#)

[イベント](#)

[Close Up! 大教](#)

[校章・ロゴマークについて](#)

[SNS・ブログ・パンフレット](#)

[広報に関する基本方針](#)

[動画で見るOKU](#)

[広報に関する手続について
\(取材・プレスリリース等\)](#)

[広告媒体への広告掲載について](#)

[図書館・センター・附属学校園](#)

[基礎データ集](#)

[ミッション・目標・計画・評価](#)

[財務・調達情報](#)

[情報公開・個人情報保護](#)

[大学の歴史・沿革](#)

[学内施設について](#)

[危機管理](#)

[その他の情報](#)

[同窓生連携室](#)

[チャットで問い合わせる](#)

大学見学・模擬授業等について

[ホーム](#) > [入学試験情報](#) > 大学見学・模擬授業等について

大学見学（柏原キャンパス）・高校内ガイダンス等

- ▼ 【個人】少人数での大学見学・個別相談について
- ▼ 【団体】大学見学（模擬授業希望あり・無しを選択）
- ▼ 【団体】高校内ガイダンス（進学説明会等）
- ▼ 【団体】出前授業（高校内で実施する模擬授業）

【個人】少人数での大学見学・個別相談について（実施期間：7月1日（金）～3月31日（金））

個人の大学見学・個別相談を希望される場合は、[こちら](#)よりお申し込みください。

原則として、希望日の2週間前までにお申し込みください。（第3希望までお知らせください。）

見学日時が決定しましたら入試課から事前にメールで連絡します。

※1週間を過ぎてても大阪教育大学から連絡がない場合や、キャンセル・変更等の場合は、大阪教育大学入試課までご連絡ください。

見学の当日は入試課（柏原キャンパスC1棟1階）までお越しください。

▼職員による大学説明・個別相談等は平日の9：00～17：00のみ実施しております。

次の期間は、職員による大学説明・個別相談等を受付けていません。

- ・土・日・祝日
- ・夏季一斉休業期間（8月15日～8月17日）
- ・年末年始期間（12月29日～1月3日）
- ・入学試験実施日及び、その準備日

入試課 TEL：072-978-3328 E-MAIL：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

交通案内

最寄り駅から入試課までのアクセス

【団体】大学見学（模擬授業希望あり・無しを選択）（実施期間：7月1日（金）～10月31日（月））

団体での大学見学は事前に申し込みください。

平日9：30～16：30の間で、約2時間程度

（ただし、学生食堂での昼食を希望される場合は、別途1時間程度を要します。）

▼次の期間は、職員による大学説明等を受付けていません。

- ・土・日・祝日
- ・夏季一斉休業期間（8月15日～8月17日）
- ・入学試験実施日及び、その準備日

入学試験情報

[入試情報一覧](#)

[入学希望の方へ](#)

[合格発表](#)

[学部入試](#)

[大学院入試](#)

[特別支援教育特別専攻科入試](#)

[アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）](#)

[障がい等のある者の出願にあたっての事前相談](#)

[過去の入試情報](#)

[資料請求](#)

[入学検定料の支払いについて](#)

[入学検定料の免除について](#)

[オープンキャンパス](#)

[進学相談会（進学ガイダンス）](#)

[大学見学・模擬授業等について](#)

[最寄り駅から入試課までのアクセス](#)

[教育プログラム](#)

受入可能人数

1団体10～50名程度

申込方法等

申込方法をご参照いただき、各申込フォームよりお申し込みください。
お申し込み手続き後、1週間以内に電話・Fax・E-Mail等でご返信いたします。

※1週間を過ぎても大阪教育大学から連絡がない場合や、キャンセル・変更等の場合は、大阪教育大学入試課（TEL：072-978-3328、FAX：072-978-3327）までご連絡ください。

注意事項

見学・説明会等の希望日1ヶ月前までにお申し込みください。

申込方法一覧

コース	所要時間	内容
大学見学 Aコース (模擬授業なし) Aコース申込フォーム	1時間30分程度 ※昼食をご希望であれば、学生食堂をご利用いただけます。(別途1時間程度必要)	・大学概要説明(大阪教育大学の特色、入試ガイダンス等) ・学内施設見学(附属図書館、グラウンド、体育館、食堂、購買部等)
大学見学 Bコース (模擬授業あり) Bコース申込フォーム	2時間30分程度 ※昼食をご希望であれば、学生食堂をご利用いただけます。(別途1時間程度必要)	・大学概要説明(大阪教育大学の特色、入試ガイダンス等) ・学内施設見学(附属図書館、グラウンド、体育館、食堂、購買部等) ・模擬授業(下記表から優先順位を付けて申してください)

模擬授業一覧

優先順位をつけ、なるべく多くの模擬授業を申し込んでください。
講師とのスケジュールが合わない場合、実施できない場合があります。あらかじめ、ご了承ください。
[\(PDF 473KB\)はこちら](#)

【団体】高校内ガイダンス（進学説明会等）

生徒や保護者を対象にした高校内ガイダンスの希望がありましたら、下記申込方法等から、お申し込みください。

- ・大学概要説明(大阪教育大学の特色、入試ガイダンス等)
- ・ブース形式個別相談

▼次の期間は、受付けていません。

- ・夏季一斉休業期間(8月15日～8月17日)
- ・年末年始期間(12月29日～1月3日)
- ・入学試験実施日及び、その準備日

申込方法等

こちら[「高校内ガイダンス申込フォーム」](#)からお申し込みください。

お申し込み手続き後、1週間以内に電話・Fax・E-Mail等でご返信いたします。

※1週間を過ぎても大阪教育大学から連絡がない場合や、キャンセル・変更等の場合は、大阪教育大学入試課（TEL：072-978-3328、FAX：072-978-3327）までご連絡ください。

チャットで問い合わせる

【団体】出前授業（高校内で実施する模擬授業）

本学教員が高校へ出向き、高校生を対象に模擬授業を行います。

実施日時

平日 9：00～17：00

※ただし、次の期間は実施しませんのでご注意ください。

- ・夏季一斉休業期間（8月15日～8月17日）
- ・年末年始期間（12月29日～1月3日）
- ・入学試験実施日及び、その準備日

出前授業について

授業内容や担当教員などの詳細は、下記の出前授業一覧をご確認ください。

講師とのスケジュール調整がありますので、できましたら最低5タイトル程度、優先順位をつけてお知らせください。

ご希望の講師とスケジュールが合わない場合、日程を変更いただく場合もありますので、ご了承ください。

▶ [出前授業一覧（PDF 440KB）](#) 

[出前授業（高校内で実施する模擬授業）申込書（PDF 54KB）](#) 

[出前授業（高校内で実施する模擬授業）申込書（Excel 12KB）](#) 

お申し込み手続き後、1週間以内に電話・Fax・E-Mail等でご返信いたします。

※1週間を過ぎても大阪教育大学から連絡がない場合や、キャンセル・変更等の場合は、大阪教育大学入試課までご連絡ください。

お問合せ・申込書送付先

大阪教育大学学務部入試課

TEL 072-978-3328

FAX 072-978-3327

E-MAIL : nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

運用担当部局：入試課

国立大学法人大阪教育大学

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

電話番号(072)976-3211（代表）

柏原キャンパス

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

▶ [Map](#)

天王寺キャンパス

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88

▶ [Map](#)

[お問い合わせ](#)

[このサイトについて](#) [プライバシーポリシー](#) [サイトマップ](#) [採用情報](#) [関連リンク集](#) [教職員の方へ](#) [ウェブアクセシビリティ](#)

Copyright (C) Osaka Kyoiku University. All rights reserved.

[チャットで問い合わせる](#)

府立高校教職コンソーシアムとの連携

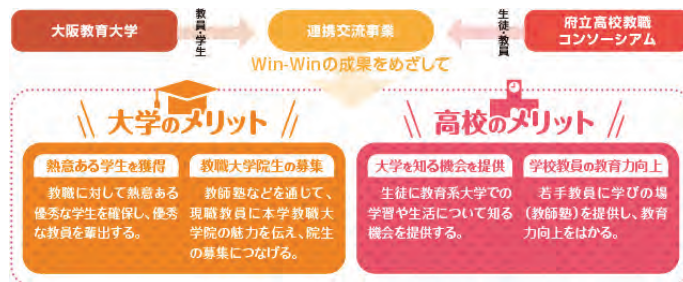
[ホーム](#) > [社会貢献・国際交流](#) > [自治体・教育委員会等との連携](#) > 府立高校教職コンソーシアムとの連携

府立高校教職コンソーシアムとの連携

府立高校教職コンソーシアムは、大阪府立八尾高等学校、生野高等学校、泉陽高等学校、寝屋川高等学校の4校校長の呼びかけにより、すぐれた資質を備えた次代を担う魅力ある「教員」を育てるために、本学をはじめとする教育系大学と連携し、「教員になること」を具体的にイメージできる機会を与えることを目的として、大阪府内の32府立高等学校間で平成26年末に結成されました。現在は42校が加盟しています。

【府立高校教職コンソーシアム 加盟校】

生野、池田、和泉、市岡、茨木、大手前、鳳、春日丘、門真なみはや、河南、岸和田、北千里、北野、高津、桜塚、佐野、四條畷、清水谷、吹田東、住吉、センター附属、泉北、泉陽、千里、高槻北、槻の木、天王寺、登美丘、豊中、富田林、寝屋川、花園、東住吉、藤井寺、布施、三国丘、三島、八尾、八尾翠翔、山田、山本、夕陽丘



メールマガジン「学びの架け橋」

このメールマガジンは、(1)大学から府立高校への情報の提供 (2)連携交流事例の紹介 (3)加盟校の先進的な取組の紹介 を主な目的として大阪教育大学が発行するものです。



画像をクリックするとPDF (3.0MB) が開きます。

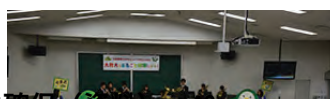
目次

- ・ オープンキャンパス開催
- ・ リレーエッセイ ― 大阪府立清水谷高等学校 日笠 賢 校長
- ・ 加盟校出身学生の紹介
- ・ 交流事業の紹介
- ・ 加盟校の取組紹介 ― 大阪府立藤井寺高等学校
- ・ 大教大トピックス

[バックナンバー](#)

キャンパスガイド「大教大をまるごと体験しよう！」

教師を志望する生徒、興味のある生徒に、教師の魅力と大阪教育大学の魅力を伝えるミニオープンキャンパスです。


[一学生確保（資料）](#)

PAGETOP

[チャットで問い合わせる](#)

※令和3年度キャンパスガイド及び令和2年度キャンパスガイドは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止いたしました。



- ・ [キャンパスガイド 令和4年10月23日開催](#)
- ・ [キャンパスガイド 令和元年10月27日開催](#)
- ・ [キャンパスガイド 平成30年10月28日開催](#)
- ・ [キャンパスガイド 平成29年11月11日開催](#)
- ・ [キャンパスガイド 平成28年11月26日開催](#)

作文コンクール “Leading to the Future”

府立高校教職コンソーシアム加盟校の高校生を対象とした作文コンクールです。

『未来に向かって -教師・夢・希望-』をテーマに、出会った教師・恩師とのエピソード、先生になりたいと思ったきっかけ、夢への意気込みなど未来に向かう気持ちを作文として発表します。

[作文コンクール2022 “Leading to the Future” 詳細ページ](#)

大阪府立高校・高等部の生徒の方は、奮ってご応募ください。
応募に関する詳細は、各学校の担当の先生に尋ねてください。

過去の実施概要及び受賞作

- ・ [作文コンクール2021 “Leading to the Future”](#)
- ・ [作文コンクール2020 “Leading to the Future”](#)
- ・ [作文コンクール2019 “Leading to the Future”](#)
- ・ [作文コンクール2018 “Leading to the Future”](#)

高校生育成プログラム「教師にまっすぐ」

教師になりたいという夢や志を持つ高校生を対象とした育成プログラム「教師にまっすぐ」を開催しています。大学生・大学院生も運営に参加し、高校生の夢をたしかなものにできるようなプログラムを提供しています。



- ・ [教師にまっすぐ 令和4年7月開講](#)
- ・ [教師にまっすぐ 令和3年7月開講](#)
- ・ [教師にまっすぐ 令和2年7月開講](#)
- ・ [教師にまっすぐ 令和元年7月開講](#)
- ・ [教師にまっすぐ 平成30年7月開講](#)
- ・ [教師にまっすぐ 平成29年7月開講](#)
- ・ [教師にまっすぐ 平成28年7月開講](#)

教師塾「教師の学び舎」

若手教員に対し、連合教職大学院と同等の講義を提供します。1クール全3回で、現場経験をもつ実務家教員による講話などもあり、実践力の向上や得意分野の開拓をめざします。



- ・ [教師の学び舎 第13クール 令和4年6月開講](#)
- ・ [教師の学び舎 第12クール 令和3年6月開講](#)
- ・ [教師の学び舎 第11クール 令和2年7月開講](#)
- ・ [教師の学び舎 第10クール 令和元年6月開講](#)
- ・ [教師の学び舎 特別講座 平成31年4月20日開講](#)

PAGETOP

チャットで問い合わせる

出前授業「大教大レッスン」

大学教員が高校に出向き、大阪教育大学ならではの特別授業を行います。講義を聞くだけでなく、生徒が主体的に参加する「アクティブ・ラーニング」手法の授業を実施しています。

- [外国人教員による英語出前授業 平成27年6月](#)
- [連合教職大学院の教員が出前授業 平成27年6月](#)



高校訪問「大教大キューピッド」

加盟校出身の学生「大教大キューピッド」が母校を訪問し、教師の魅力、大阪教育大学の魅力を伝えます。受験のアドバイスや大学での学びなどを語り、教師になる夢を後押しします。

- [学生がキューピッドに！ 平成28年6月1日](#)
- [母校で大学PR活動 平成27年9月17日](#)



[大教大キューピッド（本学学生向けページ）](#)

運用担当部局：広報室

国立大学法人大阪教育大学

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

電話番号(072)976-3211（代表）

柏原キャンパス

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

[▶ Map](#)

天王寺キャンパス

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88

[▶ Map](#)

[お問い合わせ](#)

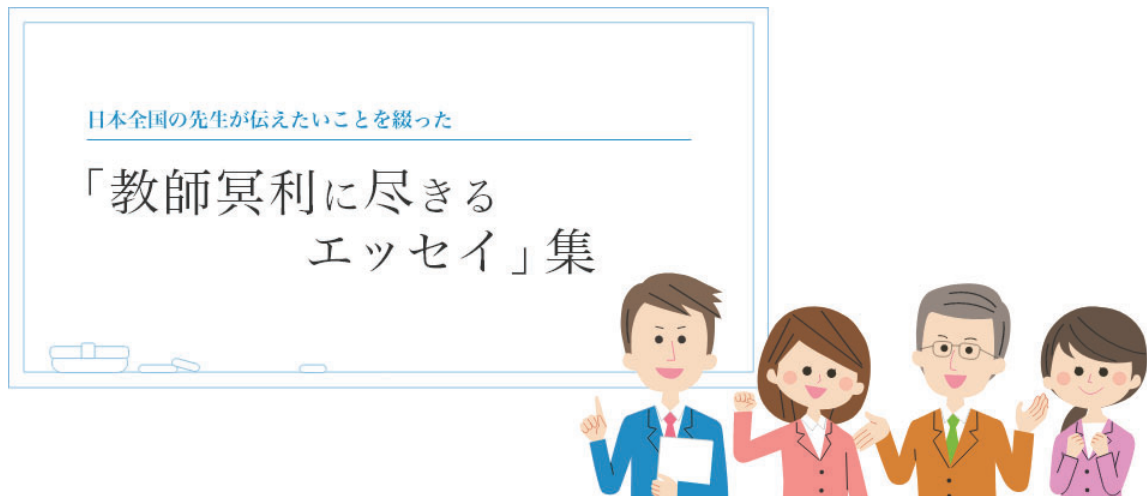
[このサイトについて](#) [プライバシーポリシー](#) [サイトマップ](#) [採用情報](#) [関連リンク集](#) [教職員の方へ](#) [ウェブアクセシビリティ](#)

Copyright (C) Osaka Kyoiku University. All rights reserved.

教師の魅力向上プロジェクト



「教師冥利に尽きるエッセイ」

[ホーム](#) [エッセイ一覧](#) [お知らせ](#) [このサイトについて](#) [募集要項](#)


エッセイを読む

読みたいエッセイの学校種を選んでください。

幼稚園、認定子ども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学(短大・大学院含)、
高等専門学校、専修学校、保育所、各種学校の現職及び退職された教員、養護教諭、栄養教諭、司書教諭、保育士と、
様々な教職経験者の方々から集まったエッセイを読むことができます。

幼稚園

小学校

中学校

高等学校

特別支援学校

大学
(短大・大学院含)

その他



スピンオフ企画
恩師への手紙



新着エッセイ

2022/01/13	小学校	学校での子どもとのエピソードを元にした2冊の絵本をつくりました
2021/01/04	高等学校	ドラマよりドラマチックな出来事
2021/01/04	高等学校	向き合うこと
2021/01/04	高等学校	教え子からの一言にドキドキ
2021/01/04	小学校	先生！今日は何する？

[一覧を見る](#)

お知らせ

2022/10/20	2022年10月13日付教育新聞にボイスドラマに関する記事が掲載
2022/09/30	教師冥利に尽きるボイスドラマを3本公開
2022/03/07	ボイスドラマの収録を行いました
2022/02/25	ボイスドラマ台本を読み合わせ
2022/02/15	ボイスドラマ化するエッセイ・恩師への手紙が決定しました
2022/01/26	「教師冥利に尽きるエッセイ」ボイスドラマ化プロジェクト始動
2021/06/03	エッセイが90件を超えました。
2021/01/26	エッセイが80件を超えました。
2021/01/20	エッセイが70件を超えました。

[一覧を見る](#)

教師の素晴らしさを世界に向けて発信し、教師をめざす者を一人でも多く増やす

大阪教育大学は、1874年（明治7年）5月に設置された教員伝習所にその起源を求めると140年を超える歴史と伝統を有する我が国
有数の教育大学です。

18歳人口が減少する中、変化の激しい社会に対応しなければならない時代だからこそ『教育』が今まで以上に重要であり、『教育
は人なり』といわれるように、学校教育の成否は、教員の資質能力に負うところが極めて大きいとも言えます。

しかしながら、昨今、多忙化を中心とした教師のマイナスイメージを報道されることが多くなり、教員採用選考試験における受験者
数の減少と競争率低下の一因となっています。

本プロジェクトは、全国の教職等経験者から「教師冥利に尽きるエッセイ」を集め、Web特設サイトによる公開等を通して教師という職業のやりがいや素晴らしさを世界に向けて発信し、教師をめざす者を一人でも多く増やすことを目的としています。

教師冥利に尽きるエッセイ
を募集しています

恩師への手紙も
募集しています

修学支援事業支援
のお願い

教師の魅力向上プロジェク
ト
(クラウドファンディング)



国立大学法人
大阪教育大学

Copyright (C) Osaka Kyoiku University. All rights reserved.

全国の公立小学校・中学校・義務教育学校教員の採用選考試験状況

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	52,161	51,197	47,661	44,710	43,448
	採用者数	15,017	15,935	17,029	16,605	16,440
	倍率	3.5	3.2	2.8	2.7	2.6
中学校	受験者数	57,564	54,266	49,190	45,763	44,105
	採用者数	7,750	7,988	8,650	9,057	10,049
	倍率	7.4	6.8	5.7	5.1	4.4

文部科学省「令和3年度公立学校教員採用選考試験の実施状況について」

近畿地方の公立小学校・中学校・義務教育学校教員の採用選考試験状況

近畿地方計

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	10,555	10,189	9,689	8,982	9,073
	採用者数	2,507	2,492	2,505	2,346	2,393
	倍率	4.2	4.1	3.9	3.8	3.8
中学校	受験者数	10,244	9,483	8,704	8,074	8,097
	採用者数	1,482	1,193	1,276	1,427	1,653
	倍率	6.9	7.9	6.8	5.7	4.9

滋賀県

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	758	713	731	617	634
	採用者数	223	209	224	223	235
	倍率	3.4	3.4	3.3	2.8	2.7
中学校	受験者数	712	730	698	632	580
	採用者数	122	120	115	121	120
	倍率	5.8	6.1	6.1	5.2	4.8

京都府

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	617	597	554	512	486
	採用者数	157	121	137	164	135
	倍率	3.9	4.9	4.0	3.1	3.6
中学校	受験者数	584	555	557	502	527
	採用者数	65	52	86	112	116
	倍率	9.0	10.7	6.5	4.5	4.5

京都市

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	695	672	554	585	635
	採用者数	159	156	137	149	160
	倍率	4.4	4.3	4.0	3.9	4.0
中学校	受験者数	695	666	557	570	612
	採用者数	59	63	86	79	93
	倍率	11.8	10.6	6.5	7.2	6.6

大阪府

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	2,304	2,130	1,932	1,800	1,706
	採用者数	617	558	513	430	473
	倍率	3.7	3.8	3.8	4.2	3.6
中学校	受験者数	2,885	2,460	2,062	1,866	1,830
	採用者数	471	279	292	286	365
	倍率	6.1	8.8	7.1	6.5	5.0

大阪市

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	999	1,024	1,107	1,059	1,194
	採用者数	207	322	463	409	434
	倍率	4.8	3.2	2.4	2.6	2.8
中学校	受験者数	897	830	839	818	1,003
	採用者数	118	125	134	205	327
	倍率	7.6	6.6	6.3	4.0	3.1

堺市

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	554	445	406	349	370
	採用者数	101	101	82	78	58
	倍率	5.5	4.4	5.0	4.5	6.4
中学校	受験者数	466	431	373	340	322
	採用者数	60	46	51	52	35
	倍率	7.8	9.4	7.3	6.5	9.2

豊能地区

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	404	443	441	405	369
	採用者数	89	118	90	117	112
	倍率	4.5	3.8	4.9	3.5	3.3
中学校	受験者数	287	321	325	335	294
	採用者数	40	29	34	49	46
	倍率	7.2	11.1	9.6	6.8	6.4

兵庫県

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	2,238	2,150	1,947	1,769	1,817
	採用者数	426	417	319	337	390
	倍率	5.3	5.2	6.1	5.2	4.7
中学校	受験者数	1,561	1,476	1,446	1,322	1,328
	採用者数	247	222	205	239	258
	倍率	6.3	6.6	7.1	5.5	5.1

神戸市

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	703	821	869	813	771
	採用者数	170	165	200	133	105
	倍率	4.1	5.0	4.3	6.1	7.3
中学校	受験者数	758	836	776	739	700
	採用者数	106	108	88	76	88
	倍率	7.2	7.7	8.8	9.7	8.0

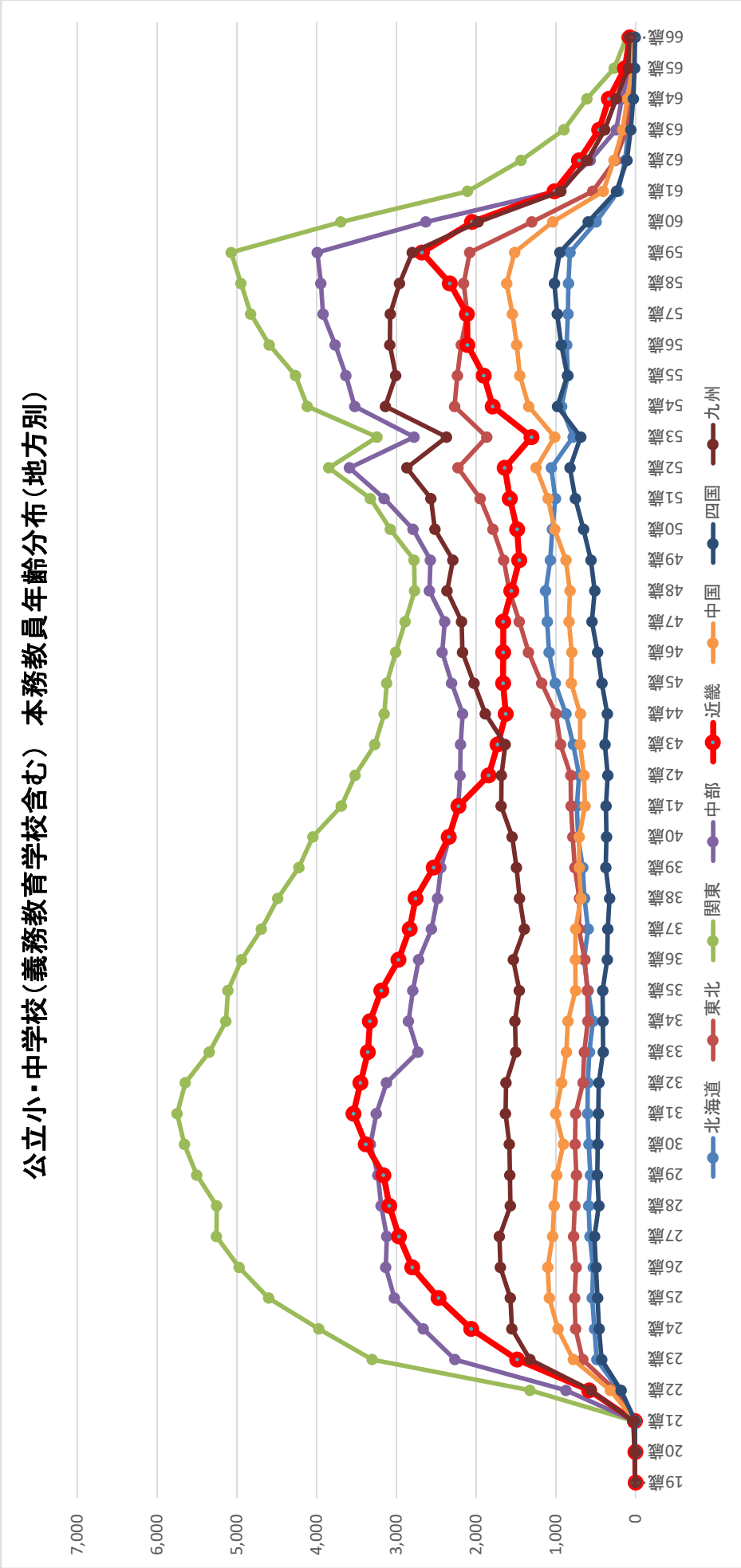
奈良県

学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	806	725	661	602	601
	採用者数	160	165	146	120	117
	倍率	5.0	4.4	4.5	5.0	5.1
中学校	受験者数	711	583	513	485	436
	採用者数	103	82	97	106	101
	倍率	6.9	7.1	5.3	4.6	4.3

和歌山県

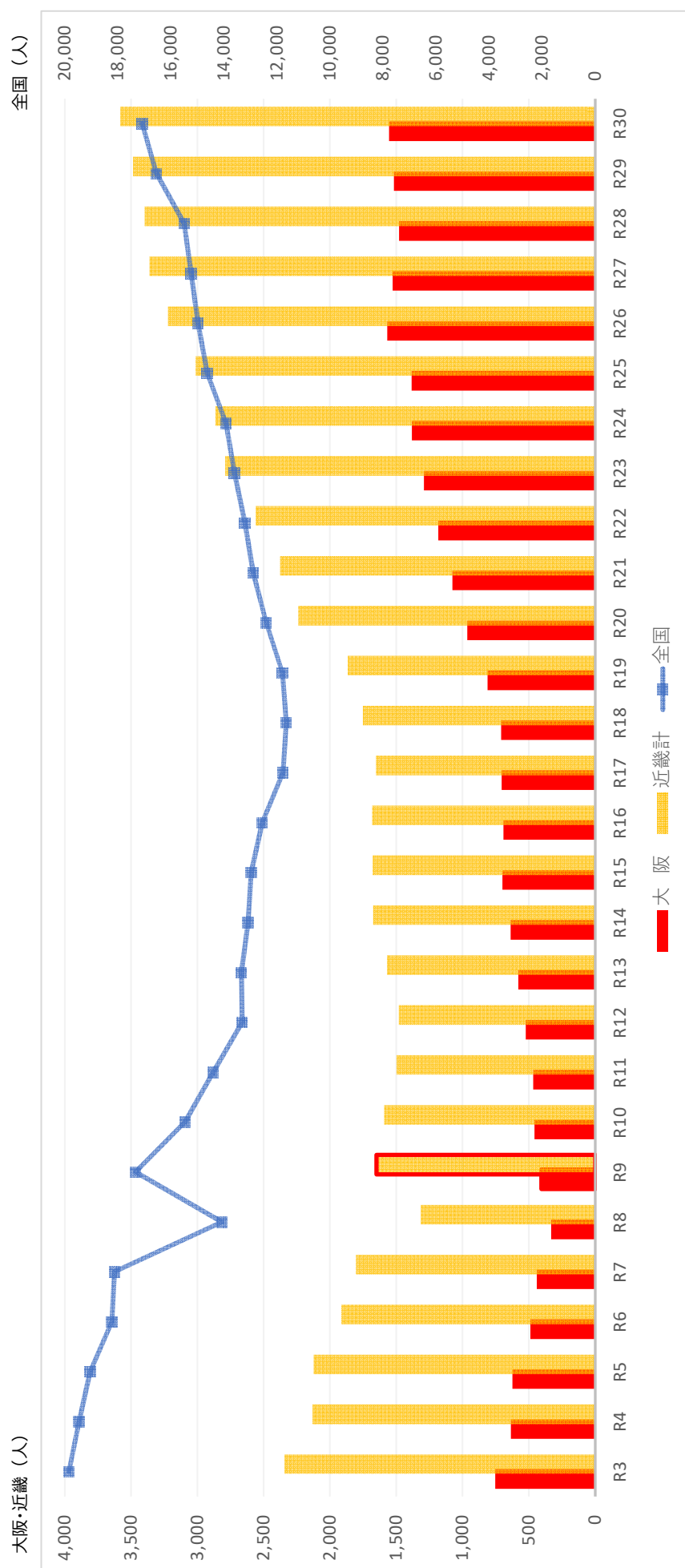
学校種	年度	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	受験者数	477	469	487	471	490
	採用者数	198	160	194	186	174
	倍率	2.4	2.9	2.5	2.5	2.8
中学校	受験者数	688	595	558	465	465
	採用者数	91	67	88	102	104
	倍率	7.6	8.9	6.3	4.6	4.5

小学校と中学校の試験区分を一部分けずに採用選考を行っている県市の受験者数は、中学校の受験者数に含んでいる。



令和元年度学校教員統計調査（都道府県別 年齢別 本務教員数）より加工

今後の定年退職者推移予測（令和元年度学校教員統計調査（都道府県別 年齢別 本務教員数）より加工）
（公立小・中学校（義務教育学校含む））



**大阪教育大学
教員養成課程・教職大学院
改組に関するニーズ調査
結果報告書
【学校長等管理職対象調査】**

**令和5年2月
株式会社 進研アド**

－学生確保（資料）－58－

学校長等管理職対象 調査概要

1. 調査目的

2024年4月改組予定の大阪教育大学 連合教職大学院の高度教職開発専攻におけるコース再編、及び、学部の学校教育教員養成課程改組構想に関して、学校長等管理職からのニーズを把握する。

2. 調査概要

		学校長等管理職対象調査
調査対象		学校長等管理職
調査エリア		大阪市、堺市、東大阪市、岸和田市、四条畷市、寝屋川市、吹田市、泉佐野市、藤井寺市、富田林市、豊中市箕面市、摂津市、茨木市、高槻市、守口市、枚方市、交野市、八尾市、羽曳野市、和泉市、泉南市
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	590校
	回収数(回収率)	225校(38.1%)
調査時期		2022年12月5日(月)～2023年1月10日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

学校長等管理職対象調査
・学校種別 ・勤務先 ・学校所在地 ・職名 ・大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」の教育現場での必要性 ・大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」夜間開講に対する魅力の有無 ・大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」への入学推奨意向 ・大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」の学生に対する勤務意向 ・大阪教育大学 連合教職大学院「特別支援教育コース」の教育現場での必要性 ・大阪教育大学 連合教職大学院「特別支援教育コース」夜間開講に対する魅力の有無 ・大阪教育大学 連合教職大学院「特別支援教育コース」への入学推奨意向 ・大阪教育大学 連合教職大学院「特別支援教育コース」の学生に対する勤務意向 ・大阪教育大学 学校教育教員養成課程で身につく力のうち、これからの教育現場で必要となるもの

学校長等管理職対象 調査結果まとめ

学校長等管理職対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、大阪教育大学 連合教職大学院の高度教職開発専攻「教育実践力コース」「特別支援教育コース」、及び、学部の学校教育教員養成課程に対する人材需要を確認するための調査として設計。大阪教育大学の近隣エリアに所在する学校の学校長等管理職を対象に調査を実施し、225名から回答を得た。

- 回答者の勤務先学校種別は、「公立」が98.7%で大多数を占める。「国立」は0.4%。
- 回答者の勤務先は、「小学校」が59.1%で最も多い。次いで「中学校」が31.6%、「特別支援学校」が9.3%。
- 学校所在地は、「大阪市」が72.9%で最も多い。次いで「堺市」が22.2%、「東大阪市」が0.9%。
- 回答者の職名は、「校長」が50.7%で最も多い。次いで「教頭」が45.8%、「副校長」「その他」がともに1.8%。

学校長等管理職対象 調査結果まとめ

大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」の教育現場での必要性／夜間開講に対する魅力の有無

- 大阪教育大学 連合教職大学院 高度教職開発専攻「教育実践力コース」の学びがこれからの教育現場に「必要だと思う」と回答した人は98.2%であり、多くの回答者から、これからの教育現場に必要なコースであると評価されている。
- 大阪教育大学 連合教職大学院 高度教職開発専攻「教育実践力コース」の夜間開講に対して「魅力的に感じる」と回答した人は、91.6%である。

大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」への入学推奨意向／学生に対する勤務意向

- 大阪教育大学 連合教職大学院 高度教職開発専攻「教育実践力コース」に対して、自校の教員に「入学を勧めたいと思う」と回答した人は、72.0%。
- 大阪教育大学 連合教職大学院 高度教職開発専攻「教育実践力コース」で学んだ学生について、自校で「勤務してほしいと思う」と回答した人は、97.3%。多くの回答者から「教育実践力コース」で学んだ人材が必要とされており、学校現場での人材需要が高いことがうかがえる。

学校長等管理職対象 調査結果まとめ

大阪教育大学 連合教職大学院「特別支援教育コース」の教育現場での必要性／夜間開講に対する魅力の有無

- 大阪教育大学 連合教職大学院 高度教職開発専攻「特別支援教育コース」の学びがこれからの教育現場に「必要だと思う」と回答した人は99.1%であり、多くの回答者から、これからの教育現場に必要なコースであると評価されている。
- 大阪教育大学 連合教職大学院 高度教職開発専攻「特別支援教育コース」の夜間開講に対して「魅力的に感じる」と回答した人は92.4%である。

大阪教育大学 連合教職大学院「特別支援教育コース」への入学推奨意向／学生に対する勤務意向

- 大阪教育大学 連合教職大学院 高度教職開発専攻「特別支援教育コース」に対して、自校の教員に「入学を勧めたいと思う」と回答した人は、74.2%。
- 大阪教育大学 連合教職大学院 高度教職開発専攻「特別支援教育コース」で学んだ学生について、自校で「勤務してほしいと思う」と回答した人は、97.3%。多くの回答者から「特別支援教育コース」で学んだ人材が必要とされており、学校現場での人材需要が高いことがうかがえる。

学校長等管理職対象 調査結果まとめ

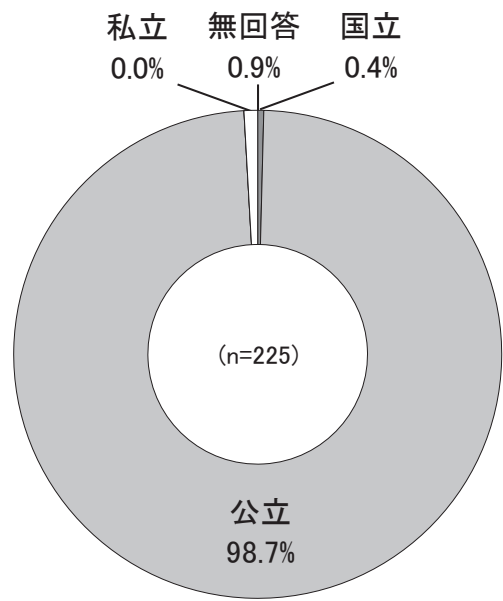
学校教育教員養成課程で身につく力のうち、 これからの教育現場で必要となるもの

- 大阪教育大学 学校教育教員養成課程で身につく力のうち、これからの教育現場で必要となるものを複数回答で聴取したところ、最も高い項目は、「子どもの発達段階や多様性に対応した教育を計画できる力」の72.9%であった。
次いで「子ども一人ひとりの学びの意欲を引き出すファシリテーション力」70.7%、「児童・生徒の主体的な学びを支援する学習指導を構想する力」が63.1%と続く。
- 回答者の勤務先別にみると、小学校、中学校ともに、「子どもの発達段階や多様性に対応した教育を計画できる力」、「子ども一人ひとりの学びの意欲を引き出すファシリテーション力」が上位であることは共通しているが、小学校では「児童・生徒の主体的な学びを支援する学習指導を構想する力」が続くのに対して、中学校では「社会の課題と教科指導をつなげる教科横断的なカリキュラム・マネジメント力」が続く。

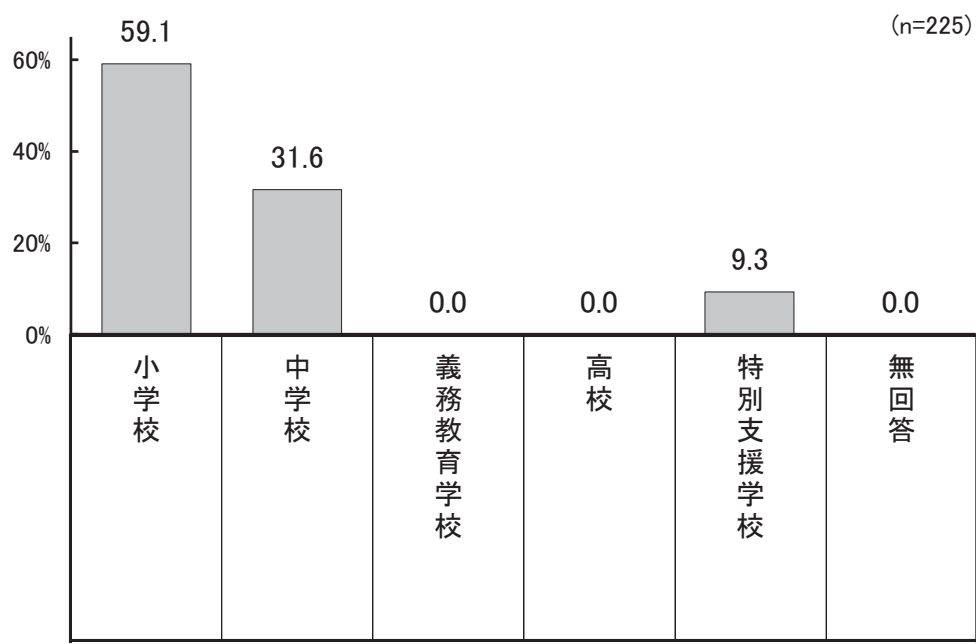
学校長等管理職対象 調査結果

回答者の属性(勤務先学校種別／勤務先)

■勤務先学校種別

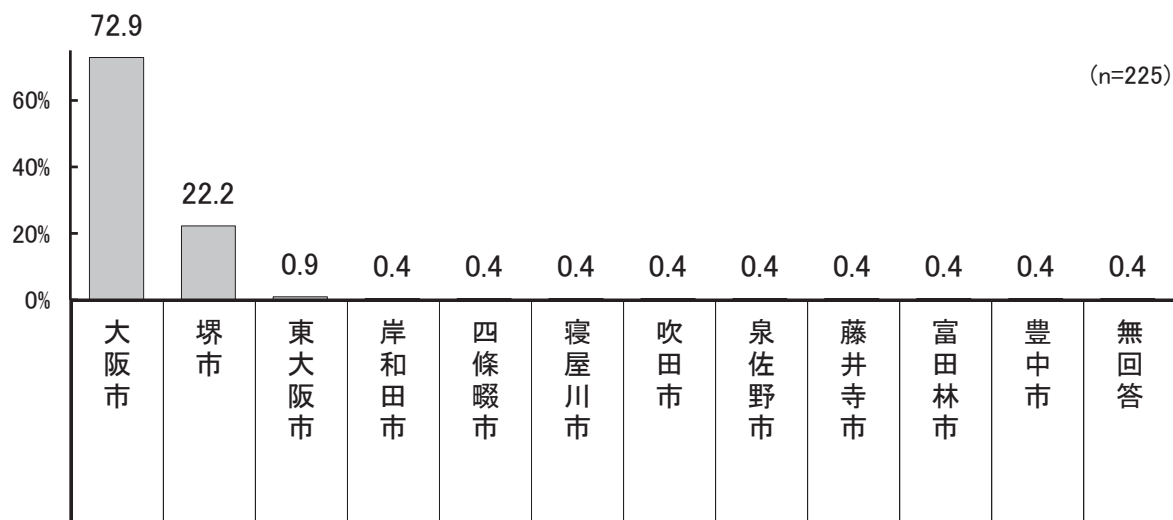


■勤務先

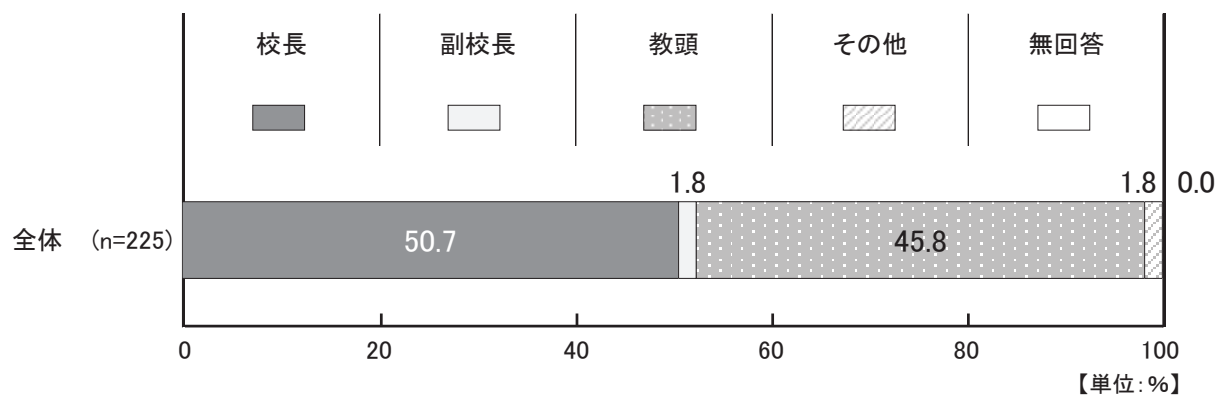


回答者の属性(学校所在地／職名)

■学校所在地



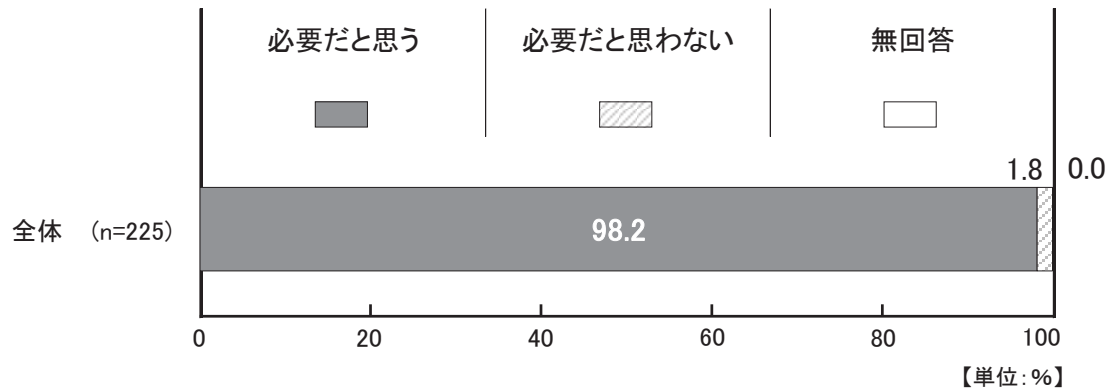
■職名



大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」の 教育現場での必要性／夜間開講に対する魅力の有無

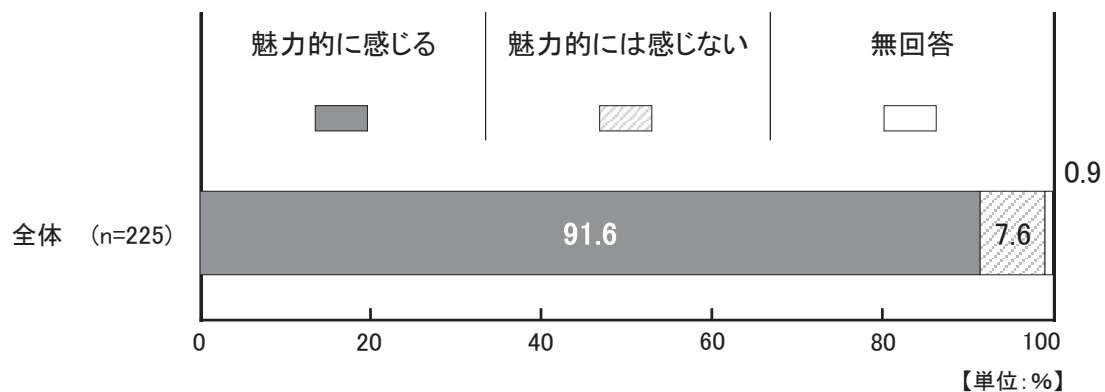
■大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」の教育現場での必要性

Q1-1.「教育実践力コース」の学びは、これからの教育現場に必要なだと思いますか。(1つに○)



■大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」夜間開講に対する魅力の有無

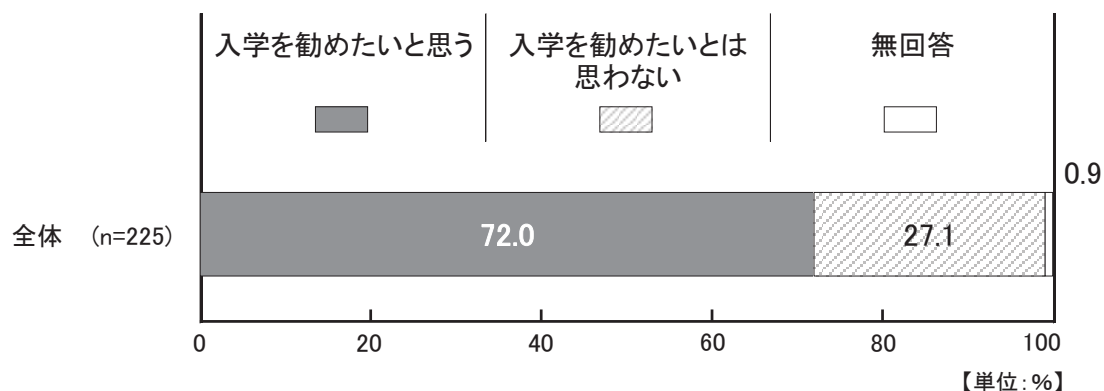
Q1-2.「教育実践力コース」の対象に現職教員を加え、天王寺キャンパスで夜間開講することは魅力的に感じますか。(1つに○)



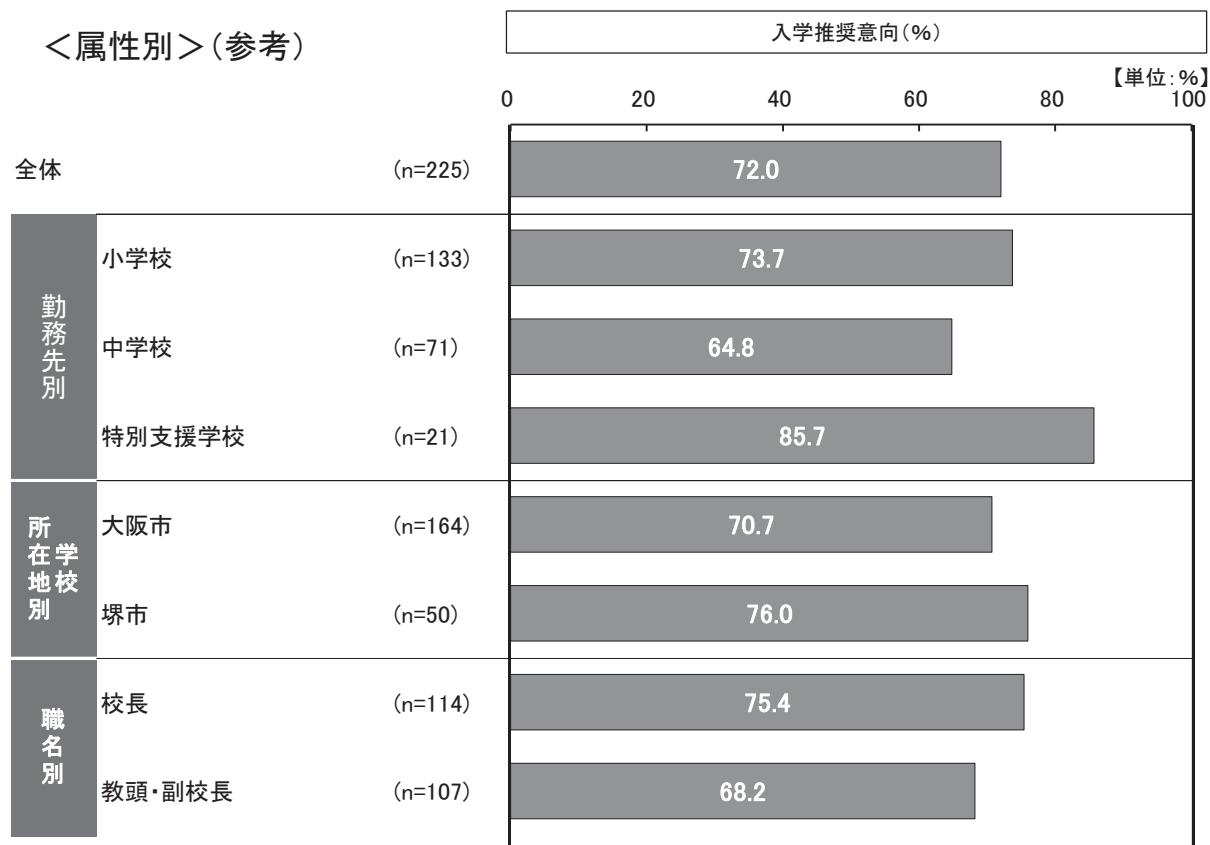
大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」への入学推奨意向

■大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」への入学推奨意向

Q1-3. 貴校の教員に、「教育実践力コース」への入学を勧めたいと思いますか。(1つに○)



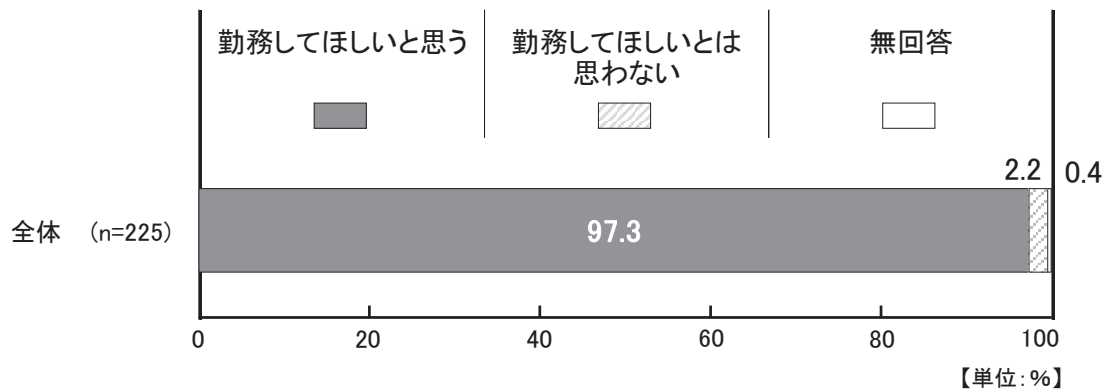
<属性別> (参考)



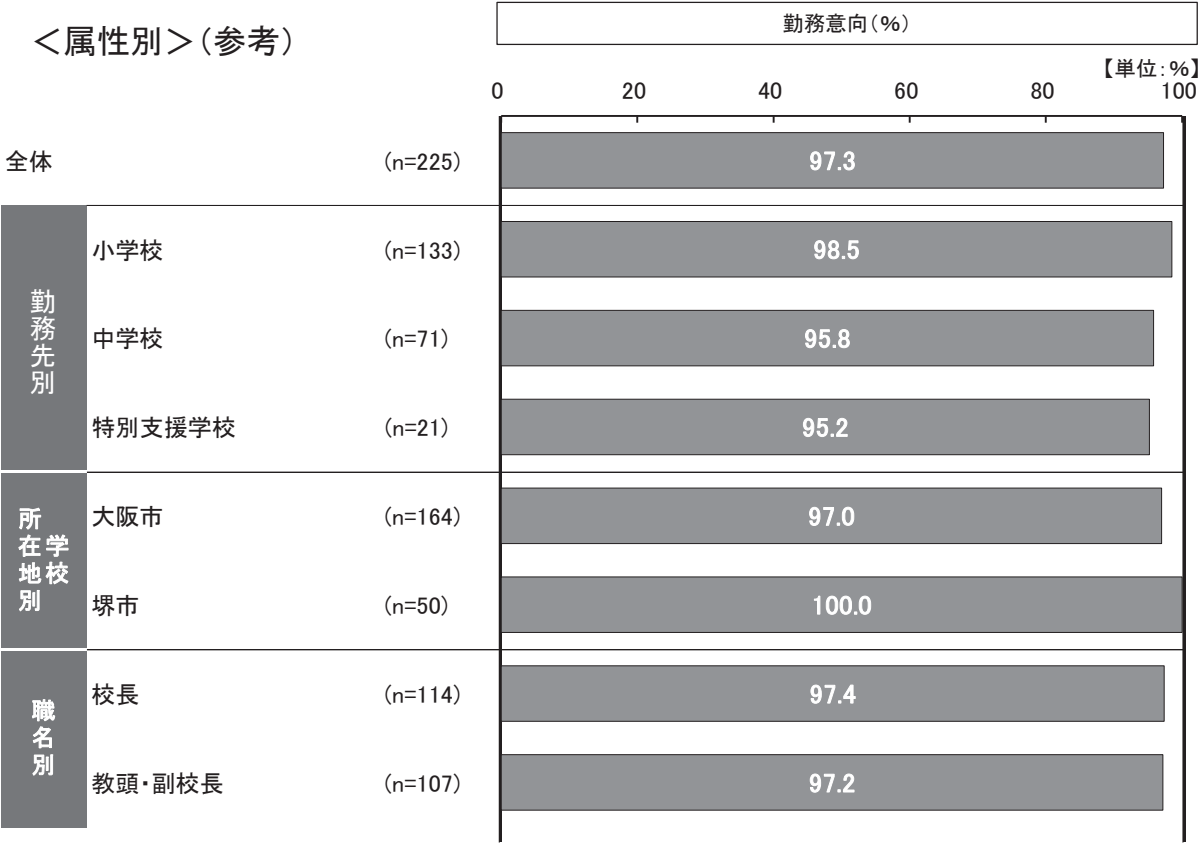
大阪教育大学 連合教職大学院「教育実践力コース」の 学生に対する勤務意向

■大阪教育大学連合教職大学院「教育実践力コース」の学生に対する勤務意向

Q1-4.「教育実践力コース」で学んだ学生について、貴校で勤務してほしいと思いますか。(1つに○)



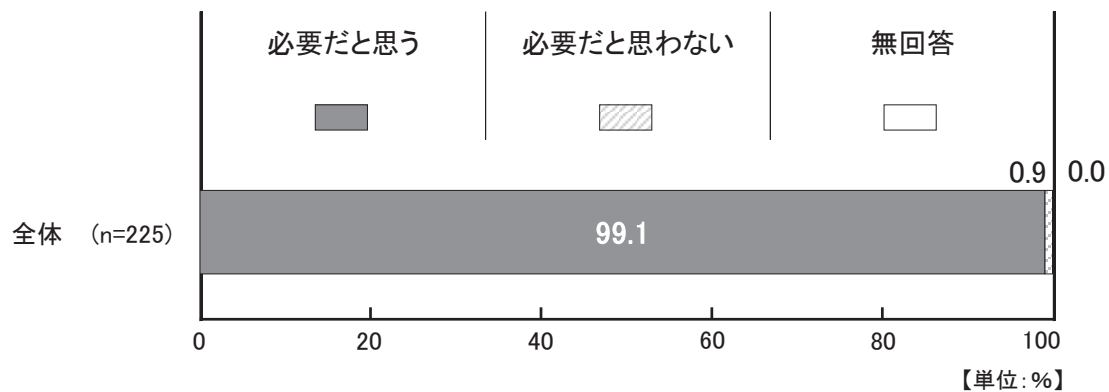
<属性別> (参考)



大阪教育大学 連合教職大学院「特別支援教育コース」の教育現場での必要性／夜間開講に対する魅力の有無

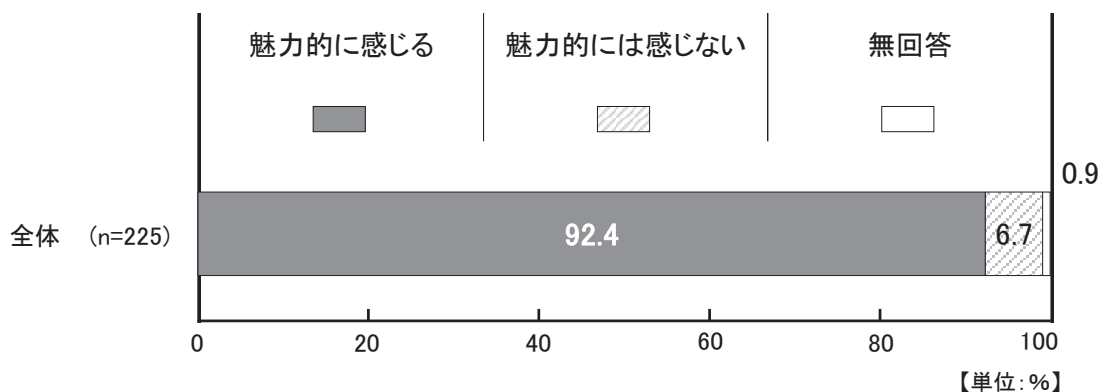
■大阪教育大学連合教職大学院「特別支援教育コース」の教育現場での必要性

Q2-1.「特別支援教育コース」の学びは、これからの教育現場に必要なだと思いますか。(1つに○)



■大阪教育大学連合教職大学院「特別支援教育コース」夜間開講に対する魅力の有無

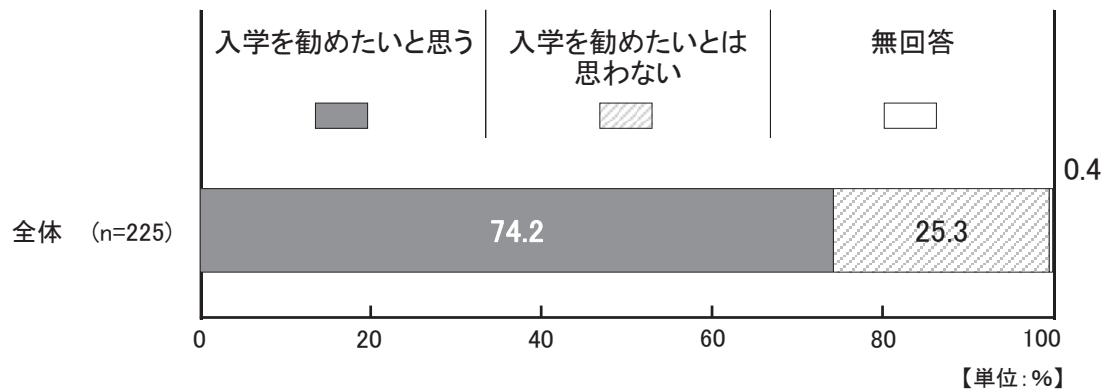
Q2-2.「特別支援教育コース」の対象に現職教員を加え、天王寺キャンパスで夜間開講することは魅力的に感じますか。(1つに○)



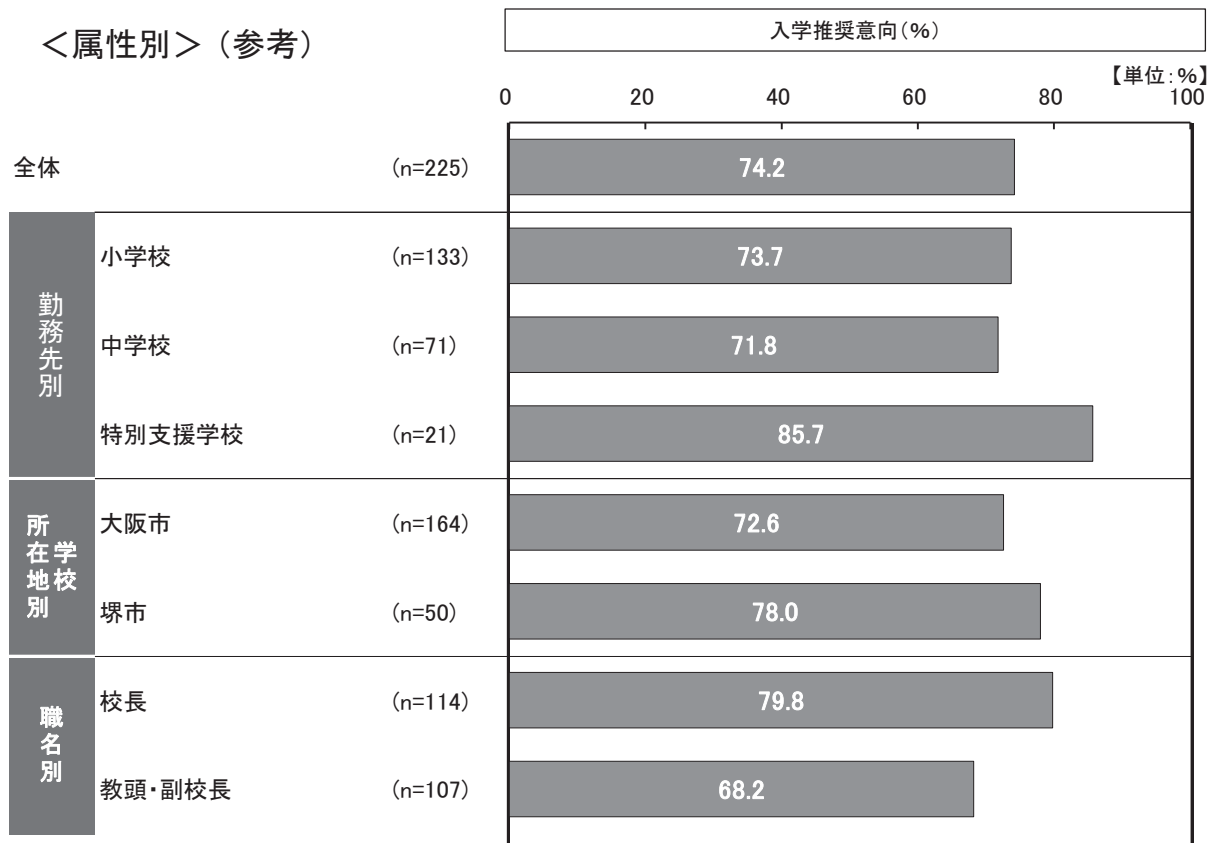
大阪教育大学 連合教職大学院「特別支援教育コース」への入学推奨意向

■大阪教育大学連合教職大学院「特別支援教育コース」への入学推奨意向

Q2-3. 貴校の教員に、「特別支援教育コース」への入学を勧めたいと思いますか。(1つに○)



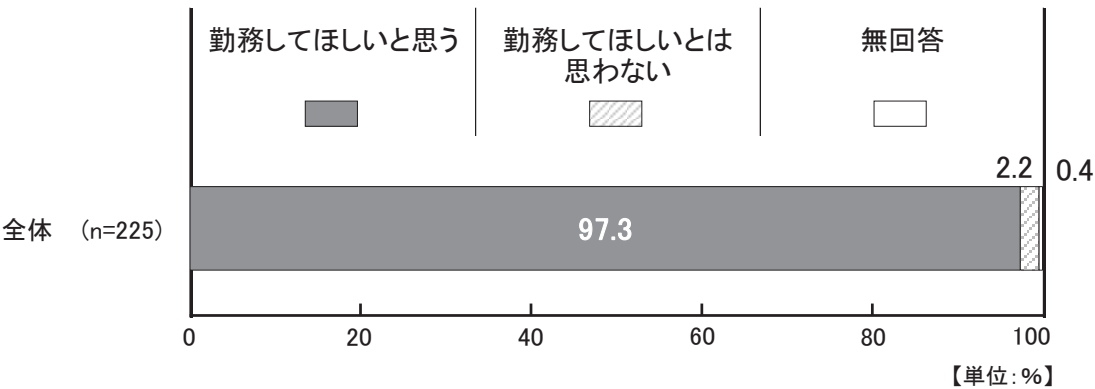
<属性別> (参考)



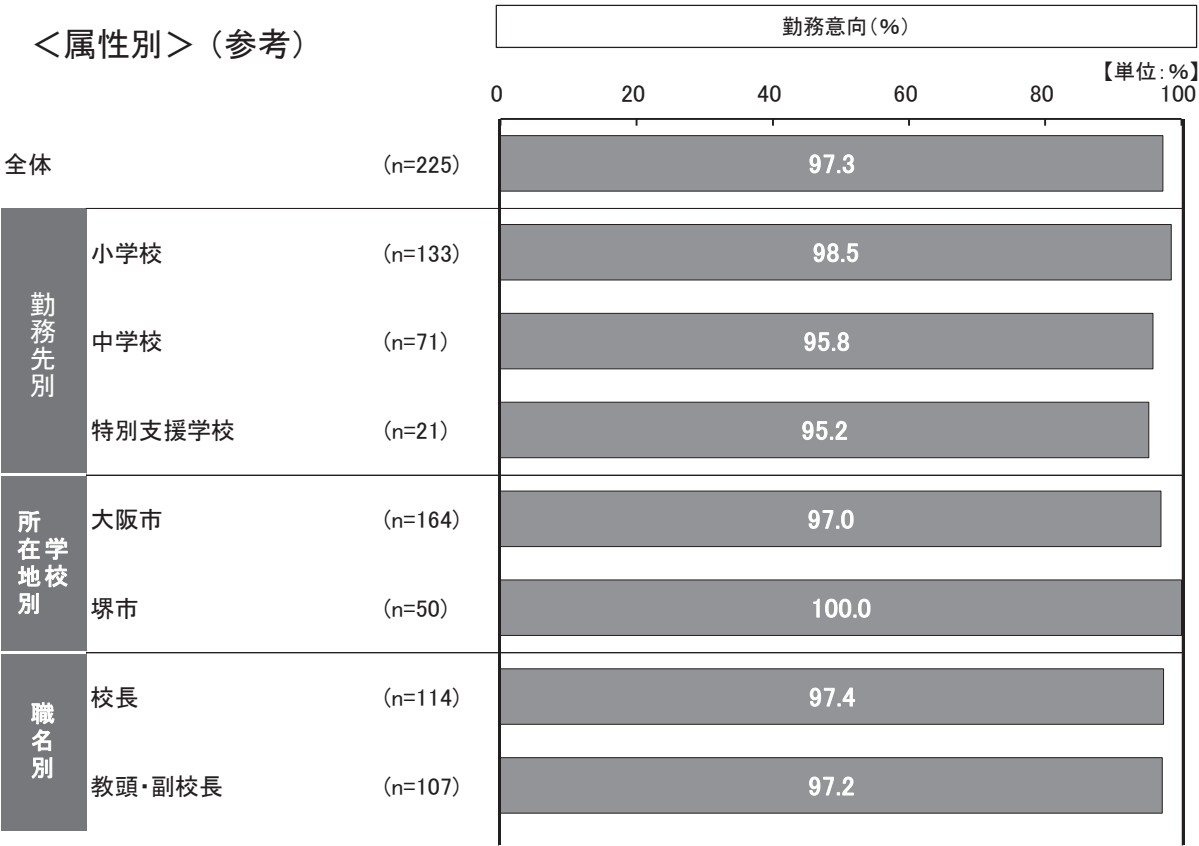
大阪教育大学 連合教職大学院「特別支援教育コース」の学生に対する勤務意向

■大阪教育大学連合教職大学院「特別支援教育コース」の学生に対する勤務意向

Q2-4.「特別支援教育コース」で学んだ学生について、貴校で勤務してほしいと思いますか。(1つに○)



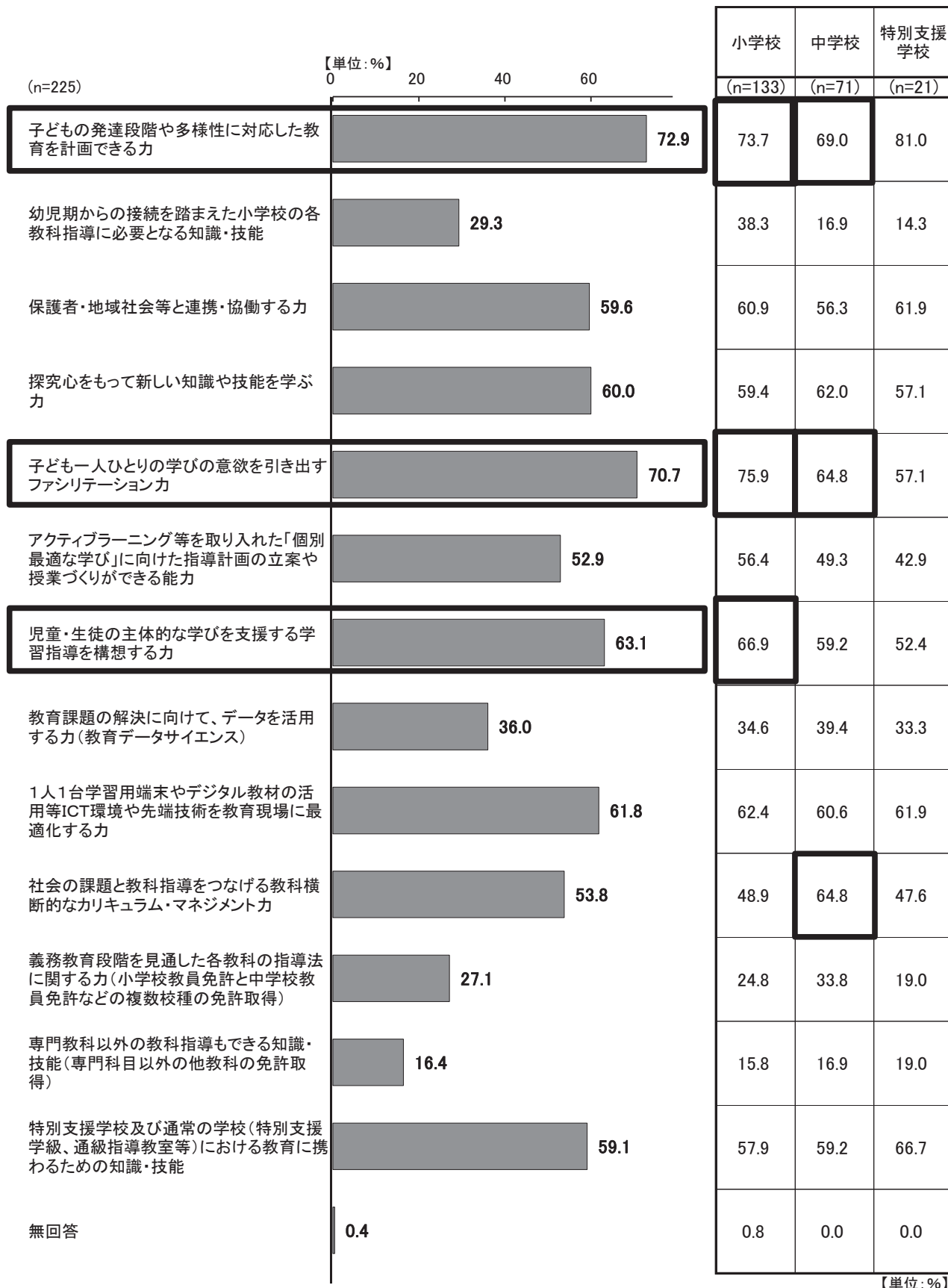
<属性別> (参考)



学校教育教員養成課程で身につく力のうち、 これからの教育現場で必要となるもの

■学校教育教員養成課程で身につく力のうち、これからの教育現場で必要となるもの

Q3. 大阪教育大学の学校教育教員養成課程では、令和6年(2024年)4月に改組を行い、以下のような力を身につけた教員を養成することを構想しています。以下の資質・能力のうち、これからの教育現場で特に必要となると思われるものをお教えてください。(あてはまる番号すべてに○)



卷末資料 調查票



大阪教育大学 教員養成課程・教職大学院改組に関するアンケート

大阪教育大学では教員養成や学校現場をとりまく課題に対応するため、令和6年(2024年)4月より、教員養成課程の改組及び学部と教職大学院との連携・接続を見据えた一体的改革の実施を構想しています。このアンケートは小中学校・高校の学校長等管理職の先生方から、大阪教育大学の改革に対するご意見をお伺いし、より充実した大学にするための参考資料とさせていただくものです。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、何とぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※このアンケートに記載されている内容はあくまで予定であり、内容が変更になる可能性もあります。

はじめに、御校ならびにあなたご自身についてお伺いいたします。

F. 以下の項目について、お答えください。

学校設置区分	国立 ・ 公立 ・ 私立 (← <u>1つに〇</u>)
	小学校 ・ 中学校 ・ 義務教育学校 ・ 高校 ・ 特別支援学校 (← <u>1つに〇</u>)
学校所在地	[] 市 ・ 町 ・ 村
ご回答者の 職名 (<u>1つに〇</u>)	1. 校長 2. 副校長 3. 教頭 4. その他(具体的に:)

※ 次のページからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

教職大学院についてお尋ねします。

大阪教育大学の連合教職大学院にある4つのコースのうち、
「教育実践力コース」「特別支援教育コース」について、以下の質問にご回答ください。
(回答は、回答者ご自身のお考えで結構です。率直なご意見をご回答ください。)

※いずれのコースも、これまでの学部直進者を主な対象として昼間開講しておりましたが、
令和6年度より、現職教員も対象に加え、天王寺キャンパスにおける夜間開講及びオンラインを活用した授業を新たに展開する予定としております。

Q1. 教育実践力コースについて

＜教育実践力コース＞

このコースは、児童・生徒に即した、実践的で高度な学習指導、学習評価の能力を持ち、教員としてのカリキュラム・マネジメントや、教科横断的な視野を持った教科領域の指導、今日的な教育課題に対応した授業開発に、先端的かつ継続的に取り組むことのできる教員を養成します。
また、ICTの先進的活用、アクティブラーニングなど効果的な授業形態の導入、パフォーマンス課題の設定とルーブリック評価の適切な活用など、教科領域を含む教育実践力を総合的に育成します。

Q1-1. 「教育実践力コース」の学びは、これからの教育現場に必要なだと思いますか。(1つに○)

- 1. 必要だと思う
- 2. 必要だと思わない

Q1-2. 「教育実践力コース」の対象に現職教員を加え、天王寺キャンパスで夜間開講することは魅力的に感じますか。(1つに○)

- 1. 魅力的に感じる
- 2. 魅力的には感じない

Q1-3. 貴校の教員に、「教育実践力コース」への入学を勧めたいと思いますか。(1つに○)

- 1. 入学を勧めたいと思う
- 2. 入学を勧めたいとは思わない

Q1-4. 「教育実践力コース」で学んだ学生について、貴校で勤務してほしいと思いますか。(1つに○)

- 1. 勤務してほしいと思う
- 2. 勤務してほしいとは思わない

Q2. 特別支援教育コースについて

＜特別支援教育コース＞

このコースは、特別支援教育の対象となる子ども一人ひとりのニーズに対応した適切な教育支援を行える高度な能力を身につけ、特別支援コーディネーターとしての役割を担うことのできる教員を養成します。

インクルーシブ教育構築の観点から、特別支援学校、幼稚園、小学校、中学校、高等学校ならびに各種施設における特別なニーズのある子どもたちの能力や個性に応じた専門的な教育支援を追求することによって、特別支援教育における指導的教育者、特別支援教育コーディネーター等となるのに必要な洞察力・実践力を育成します。

Q2-1. 「特別支援教育コース」の学びは、これからの教育現場に必要だと思いますか。(1つに○)

- 1. 必要だと思う
- 2. 必要だと思わない

Q2-2. 「特別支援教育コース」の対象に現職教員を加え、天王寺キャンパスで夜間開講することは魅力的に感じますか。(1つに○)

- 1. 魅力的に感じる
- 2. 魅力的には感じない

Q2-3. 貴校の教員に、「特別支援教育コース」への入学を勧めたいと思いますか。(1つに○)

- 1. 入学を勧めたいと思う
- 2. 入学を勧めたいとは思わない

Q2-4. 「特別支援教育コース」で学んだ学生について、貴校で勤務してほしいと思いますか。(1つに○)

- 1. 勤務してほしいと思う
- 2. 勤務してほしいとは思わない

学部教育についてお尋ねします。

Q3. 大阪教育大学の学校教育教員養成課程では、令和6年(2024年)4月に改組を行い、以下のような力を身につけた教員を養成することを構想しています。
以下の資質・能力のうち、これからの教育現場で特に必要となると思われるものをお教えてください。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの発達段階や多様性に対応した教育を計画できる力
2. 幼児期からの接続を踏まえた小学校の各教科指導に必要な知識・技能
3. 保護者・地域社会等と連携・協働する力
4. 探究心をもって新しい知識や技能を学ぶ力
5. 子ども一人ひとりの学びの意欲を引き出すファシリテーション力
6. アクティブラーニング等を取り入れた「個別最適な学び」に向けた指導計画の立案や授業づくりができる能力
7. 児童・生徒の主体的な学びを支援する学習指導を構想する力
8. 教育課題の解決に向けて、データを活用する力(教育データサイエンス)
9. 1人1台学習用端末やデジタル教材の活用等 ICT 環境や先端技術を教育現場に最適化する力
10. 社会の課題と教科指導をつなげる教科横断的なカリキュラム・マネジメント力
11. 義務教育段階を見通した各教科の指導法に関する力
(小学校教員免許と中学校教員免許などの複数校種の免許取得)
12. 専門教科以外の教科指導もできる知識・技能
(専門科目以外の他教科の免許取得)
13. 特別支援学校及び通常の学校(特別支援学級、通級指導教室等)における教育に携わるための知識・技能

Q4. 改組計画全体について、ご意見・ご要望等ありましたら、ご記入ください。

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～